

科目名	Basic English Reading I		科目ナンバリング	L-ESFU1-00. EE	単位数 時間	1単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	E50006		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>この授業では、平易な英語で書かれた作品を、文法事項と英語の音に注目しながら正確に読むことを目指します。中学校・高校で学んだ英語の知識を改めて確認するとともに、4年間の英語・英米文学科での英語の学びの基礎となる力を身につけて行きます。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの6・8に関連し、カリキュラムポリシーの6-2・8に関連している。</p>									
到達 目標	映画『ふしぎの国のアリス』の台本を通して、基本的な文法事項やフレーズを学んだり、英語のリズムに注意しながら発音の練習を行う。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	イントロダクション		授業の進め方の説明、予習・復習の仕方の説明							
第2回	Chapter 1 & Chapter 2		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習						講義＋アクティブラーニング	
第3回	Chapter 3 & Chapter 4		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習						講義＋アクティブラーニング	
第4回	Chapter 5 & Chapter 6		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習						講義＋アクティブラーニング	
第5回	Chapter 7 & Chapter 8		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習						講義＋アクティブラーニング	
第6回	Chapter 8 & Chapter 9		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習						講義＋アクティブラーニング	
第7回	前半の確認、まとめ		これまでの学習内容の重点ポイントの確認						オンデマンド授業	
第8回	Chapter 10 & Chapter 11		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習						講義＋アクティブラーニング	
第9回	Chapter 12 & Chapter 13		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習						講義＋アクティブラーニング	
第10回	Chapter 14 & Chapter 15		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習						講義＋アクティブラーニング	
第11回	Chapter 16 & Chapter 17		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習						講義＋アクティブラーニング	
第12回	Chapter 18, Chapter 19 & Chapter 20		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習						講義＋アクティブラーニング	
第13回	後半の確認、まとめ		これまでの学習内容の重点ポイントの確認						オンデマンド授業	
第14回	発音実践		選択したシーンのパフォーマンス						グループアクティビティ	
第15回	発音実践		選択したシーンのパフォーマンス						グループアクティビティ	
評価 方法 及び 評価 基準	授業への参加態度 20点、課題2回 各20点、パフォーマンス 40点									
課題 等	確認テストのための復習を兼ねた準備が必要です。確認テストが返却されたらさらに見直しを行ってください。発音練習のために、何度も聞き取りを行い、模倣する練習を行います。最終的にはグループで、好きなシーンを選んで演じてもらいます。									
事前 事後 学修	毎回の授業における読解のための予習を必要とします。準備時間の目安：3時間程度									
教材 教科書 参考書	プリント配布									
留意 点	teamsを併用して課題を課します。第7及び13回目はオンデマンド授業を行います。受講者は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 (※「授業動画を視聴し」の箇所は、必要に応じ「授業音声聴取し」に変更)									

科目名	Basic English Reading II		科目ナンバリング	L-ESFU1-01.EE	単位数 時間	1単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
	科目コード	E50007		30時間						
区分	専門教育科目	必修	担当者名	神戸 直樹			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>[授業の主旨] This course is designed for students to learn academic reading skills. Students will learn strategies to promote fluency and accuracy in reading through a variety of activities including reading extensively and intensively. [ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項] ディプロマポリシーの6・8に関連し、カリキュラムポリシーの6-2・8に関連している。</p>									
到達 目標	The goal of this course is to acquire effective reading skills. In particular, students will: a) improve reading rate and comprehension skills, b) develop strategic reading skills, such as skimming, scanning, and recognizing topics, c) develop reading fluency and vocabulary knowledge through reading graded readers, and d) write summaries and short responses of reading texts.									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	Course Introduction		Diagnosis Test, Reading Survey							
第2回	Previewing		Introduction to Extensive Reading Textbook: Chapter 1							
第3回	Scanning		Short Book Report 1 Due, Peer response on Short Book Report 1 Textbook: Chapter 2							
第4回	Skimming		Book Report Mini Presentation 1 Textbook: Chapter 3							
第5回	Discovering Topic Sentence		Textbook: Chapter 4							
第6回	Identifying the Main Idea		Short Book Report 2 Due, Peer response on Short Book Report 2							
第7回	Finding Supporting Details		Book Report Mini Presentation 2 Textbook: Chapter 5							
第8回	Making Inferences		Textbook: Chapter 6							
第9回	Patterns of Organization		Textbook: Chapter 7							
第10回	Using Vocabulary Knowledge		Short Book Report 3 Due, Peer response on Short Book Report 3							
第11回	Summarizing		Book Report Mini Presentation 3 Textbook: Chapter 10							
第12回	Summary Writing for Final Assignment		Textbook: Chapter 11							
第13回	Peer Review of the Final Assignment		First draft of Final Summary Assignment Textbook: Chapter 12							
第14回	Review of Reading Skills		Textbook: Chapter 13							
第15回	Wrap-up		Final draft of Final Summary Assignment							
評価 方法 及び 評価 基準	Active Participation, and Group Work (30%) Assignments (50%) -graded readers (3 books: short book reports/presentations) -mini presentations -Weekly homework Final summary assignment (20%)									
課題 等	See above									
事前 事後 学修	180 minutes/week									
教材 教科書 参考書	Textbook: Lee, G., & Gundersen, E. (2011). <i>Select readings: Teacher-approved readings for today's students, pre-intermediate</i> (2nd ed.), Oxford University Press. (978-0194332118)									
留意 点	Preparation and active class participation are critical for succeeding in this course.									

科目名	英語学概論 A		科目ナンバリング	L-ESLA1-00. EEN	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	E51000		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	遊佐 麻友子			授業 形態	講義	単独	
	日本語教員	必修								
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>英語学概論では、英語を様々な側面から分析する方法の基礎を学ぶ。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシー8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達 目標	英語学の各分野の基礎知識を身につける。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	オリエンテーション		英語学で扱う分野について学ぶ							
第2回	言語知識について		言語知識について学ぶ							
第3回	形態論(1)		形態論の基本について学ぶ					グループワーク		
第4回	形態論(2)		形態的構造について学ぶ					グループワーク		
第5回	統語論(1)		統語論の基本について学ぶ							
第6回	統語論(2)		統語構造について学ぶ					グループワーク		
第7回	統語論(3)		日英語の統語構造を比較する					グループワーク		
第8回	音声学		音声学の基本について学ぶ					グループワーク		
第9回	音韻論		音韻論の基本について学ぶ							
第10回	語用論		語用、談話について学ぶ							
第11回	言語獲得(1)		母語獲得について学ぶ					グループワーク		
第12回	言語獲得(2)		母語獲得と第二言語獲得を比較する					グループワーク		
第13回	言語獲得(3)		第二言語獲得について学ぶ					グループワーク		
第14回	まとめ		既習事項のまとめを行う							
第15回	振り返り		前期の学習内容を振り返る							
評価 方法 及び 評価 基準	試験50%、授業内で行う課題30%、授業への参加20% 統語論の基礎を学ぶために授業で取りあげた言語構造の分析を理解できたか、到達目標に向けて課題ができたかを評価する。									
課題 等	課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。									
事前 事後 学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問できるように準備する。 復習および予習の学習時間の目安は週3時間程度。									
教材 教科書 参考書	『探検！ことばの世界』大津由紀雄著 ISBN: 4894762234									
留意 点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	英語学概論B		科目ナンバリング	L-ESLA1-01. EEN	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目コード	E51001		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	遊佐 麻友子				授業 形態	講義	単独
	日本語教員	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>英語学概論では、英語を様々な側面から分析する基礎知識をさらに深める。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシー8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	英語学概論では、英語を様々な側面から分析する方法の基礎を学ぶ。授業で取り上げた現象について、自分で分析し説明できる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			英語学で扱う分野について学ぶ						
第2回	国際語としての英語			国際語としての英語の実態について学ぶ						
第3回	英語音声学(1)			調音音声学について学ぶ					グループワーク	
第4回	英語音声学(2)			日本人英語データを分析する					グループワーク	
第5回	統語論(1)			学校文法と生成文法を比較する						
第6回	統語論(2)			生成文法について学ぶ					グループワーク	
第7回	統語論(3)			言語データを分析する					グループワーク	
第8回	心理言語学(1)			心理言語学の基礎を学ぶ					グループワーク	
第9回	心理言語学(2)			文処理について学ぶ					グループワーク	
第10回	言語獲得(1)			子どもの獲得について学ぶ					グループワーク	
第11回	言語獲得(2)			大人の言語獲得について学ぶ					グループワーク	
第12回	英語と社会			社会言語学について学ぶ						
第13回	英語学と英語教育			英語学と英語教育の関係を学ぶ						
第14回	まとめ			既習事項のまとめを行う						
第15回	振り返り			後期の学習内容を振り返る						
評価方法及び評価基準	試験50%、授業内で行う課題30%、授業への参加20% 統語論の基礎を学ぶために授業で取りあげた言語構造の分析を理解できたか、到達目標に向けて課題ができたかを評価する。									
課題等	課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。									
事前事後学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問する。 復習および予習の学習時間の目安は週3時間程度。									
教材教科書参考書	授業内で指示する。プリント配布。									
留意点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	英語学原文講読		科目ナンバリング	L-ESLA2-20. E	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E51024		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>This class builds students' reading abilities via an overview of the English language. Through reading about the history of the English language, students will develop their academic reading skills. There will be a focus on group work and discussions to demonstrate understanding. This class is taught in English.</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシー8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	<p>Students will develop reading skills. They will learn how to read both for gist and in detail. Students will increase their academic vocabulary and understanding of English expressions. They will also learn how to summarize English texts. As this class is taught in English, students will develop their academic listening skills.</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	Introduction to course		The instructor will introduce the course.							
第2回	A world language		Students will learn about how English has become a world language.					Group work		
第3回	The beginnings of English		Students will learn about the origins of the English language.					Discussion		
第4回	Old English		Students will learn about the early form of English.					Group work		
第5回	The Normans in England		Students will learn about the Norman influence on English.					Discussion		
第6回	Middle English		Students will learn about how English changed.					Group work		
第7回	Review and submit report		Material will be reviewed and students will submit their reports.					Discussion		
第8回	Modern English begins		Students will learn about the beginning of modern English.					Group work		
第9回	Bringing order to English		Students will learn about major developments in modern English.					Discussion		
第10回	Modern English grows		Students will learn about the expansion of modern English.					Group work		
第11回	English in the US		Students will learn about how English developed in the US.					Discussion		
第12回	All kinds of English		Students will learn about World English.					Group work		
第13回	Jargon and slang/The future of English		Students will learn about English in slang and in specific industries and about the future of English					Discussion		
第14回	Review of chapters 1-6		The content of chapters 1-6 will be reviewed in class.					Group work		
第15回	Review and submission of final report.		Material will be reviewed and students will submit the final report.					Discussion		
評価方法及び評価基準	<p>Final Quiz: 40%</p> <p>Midterm Report: 25%</p> <p>Final report: 35%</p> <p>All work will be graded based on rubrics.</p>									
課題等	Teamsにより適宜指示します。レポート課題はTeamsにより提出する									
事前事後学修	Students are expected to read to prepare for class and do any extra reading that is assigned. Preparation along with review is expected to take up to 3 hours a week. All lectures are also online in Japanese and students may watch these to prepare.									
教材教科書参考書	<i>The History of the English Language</i> Brigit Viney (Oxford University Press) ISBN 978-0-19-423397-2									
留意点	Attendance is required as students will be given extra reading assignments. This class has a lot of reading, if students are having trouble, they must consult the teacher. One class session will be given in on-demand format. Students will be notified ahead of time.									

科目名	英語音声学		科目ナンバリング	L-ESLA2-21. UEN	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B52005		30時間				
区分	専門教育科目	選択	担当者名	内海 淳			授業 形態	講義	単独	
	教員免許・日本語教員	必修								
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 英語の発音に関わる基本的な事項である分節音、音節、強勢、イントネーションの仕組みを理解し、英語の正確な発音方法を具体的な事例を用いて学ぶ。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシー8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達 目標	英語を中心とした言語音の発音の仕組みを理解すると同時に、発音記号の正しい使い方も身につける。									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備 考		
第1回	音声学的視点とはなにか			音声学の基本的な枠組みについて理解する。音声分析ソフトPraatの使用法を理解する				反転学習 実習		
第2回	分節音			分節音の概念とその表記法について理解する				反転学習 実習		
第3回	調音器官			各調音器官について理解する				反転学習 実習		
第4回	五十音図の配列の意味			音声学的観点から日本語の五十音図の意味を理解する				反転学習 実習		
第5回	母音群			英語の基本的な母音について理解する。音声分析ソフトPraatを使い母音の波形を理解する				反転学習 実習		
第6回	子音群			英語の基本的な子音について理解する。音声分析ソフトPraatを使い子音の波形を理解する				反転学習 実習		
第7回	音節			英語と日本語の例を用いて、音節の概念について理解する				反転学習 実習		
第8回	音節主音の子音			音節主音の子音について理解する				反転学習 実習		
第9回	連結・同化・削除			音の連結・同化・削除について理解する				反転学習 実習		
第10回	強勢の位置			強勢の位置とその音声的な影響について理解する				反転学習 実習		
第11回	強形と弱形			冠詞などの強形・弱形について理解する				反転学習 実習		
第12回	イントネーション			イントネーションの構造について理解する				反転学習 実習		
第13回	リズム			英語のリズムについて理解する				反転学習 実習		
第14回	強勢衝突と強勢移動			強勢の移動の原理について理解する				反転学習 実習		
第15回	まとめ			これまでに学んだことを総括する				反転学習 実習		
評価 方法 及び 評価 基準	実際の発音の実践が必須であるため、出席時の活動評価を60%、記述試験を40%とする。出席時には、正しい発音方法を理解・獲得しているかどうかを確認し、筆記試験では、発音記号の意味を正確に理解しているかどうかを確認する問題を出题する。									
課題 等	なし。									
事前 事後 学修	事前学修：教材を熟読し、発音の練習を行う。事後学修：授業を振り返り、不明な点が理解できたか確認する。									
教材 教科書 参考書	服部範子「入門英語音声学」研究社 ISBN-13: 978-4327421892									
留意 点	毎回、実際に発音の実践が求められる。									

科目名	音韻論		科目ナンバリング	L-ESLA2-22. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E51006		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	遊佐 麻友子			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>様々な音韻現象について学び、それらの現象の分析手法を理解する。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4に関連している。</p>									
到達 目標	音韻現象について学び、その現象の分析手法を理解できる。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	オリエンテーション		音韻論の基本について学ぶ。							
第2回	音声学の基礎知識(1)		子音の基礎知識を学ぶ。						グループワーク	
第3回	音声学の基礎知識(2)		子音の基礎知識を学ぶ。						グループワーク	
第4回	音声学の基礎知識(3)		母音の基礎知識を学ぶ。						グループワーク	
第5回	音の体系と分類		音の体系と分類を学ぶ。							
第6回	音節とモーラ(1)		音節とモーラについて学ぶ。						グループワーク	
第7回	音節とモーラ(2)		音韻構造の分析を行う。						グループワーク	
第8回	日本語のアクセントと英語の強勢(1)		日本語のアクセントと英語の強勢について学ぶ。							
第9回	日本語のアクセントと英語の強勢(2)		音韻構造の分析を行う。						グループワーク	
第10回	形態構造と音韻論(1)		形態構造と音韻論について学ぶ。						グループワーク	
第11回	形態構造と音韻論(2)		形態レベルの音韻現象の分析を行う。						問題解決型学習	
第12回	句レベルの音韻論(1)		句レベルの音韻現象・規則について学ぶ。						グループワーク	
第13回	句レベルの音韻論(2)		句レベルの音韻現象・規則の分析を行う。						グループワーク	
第14回	まとめ		既習事項のまとめを行う							
第15回	振り返り		前期の学習内容を振り返る							
評価 方法 及び 評価 基準	<p>試験50%、授業内で行う課題30%、授業への参加20%</p> <p>統語論の基礎を学ぶために授業で取りあげた言語構造の分析を理解できたか、到達目標に向けて課題ができたかを評価する。</p>									
課題 等	授業の内容に基づいて適宜課題を課す。課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。									
事前事 後学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問できるように準備する。復習及び予習の学習時間の目安は週3時間程度									
教材 教科書 参考書	『英語の音声を科学する』川越 いつえ著 ISBN: 4469245313									
留意 点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	形態論		科目ナンバリング	L-ESLA2-23. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E51007		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	遊佐 麻友子			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>様々な形態的現象について学び、それらの現象の分析手法を理解する。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシー8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達 目標	形態的現象について学び、その現象の分析手法を理解できる。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	オリエンテーション		形態論の基本について学ぶ。							
第2回	文法における形態論の位置づけ		文法における形態論の位置づけについて学ぶ。							
第3回	語彙部門 (1)		語彙部門について学ぶ。							
第4回	語彙部門 (2)		語彙部門について学ぶ。							
第5回	派生形態論 (1)		派生形態論の基礎について学ぶ。						グループワーク	
第6回	派生形態論 (2)		派生形態論の分析について学ぶ。						グループワーク	
第7回	派生形態論 (3)		派生形態論の分析を行う。						グループワーク	
第8回	屈折形態論 (1)		屈折形態論の基礎について学ぶ。						グループワーク	
第9回	屈折形態論 (2)		屈折形態論の分析について学ぶ。						グループワーク	
第10回	屈折形態論 (3)		屈折形態論の分析を行う。						問題解決型学習	
第11回	語の処理の心内・脳内メカニズム (1)		語の処理の心内・脳内メカニズムについて学ぶ。							
第12回	語の処理の心内・脳内メカニズム (2)		語の処理の心内・脳内メカニズムについて学ぶ。							
第13回	形態論と自然言語処理		形態論と自然言語処理について学ぶ。							
第14回	まとめ		既習事項のまとめを行う							
第15回	振り返り		後期の学習内容を振り返る							
評価 方法 及び 評価 基準	<p>試験50%、授業内で行う課題30%、授業への参加20%</p> <p>統語論の基礎を学ぶために授業で取りあげた言語構造の分析を理解できたか、到達目標に向けて課題ができたかを評価する。</p>									
課題 等	授業の内容に基づいて適宜課題を課す。課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。									
事前事 後学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問できるように準備する。復習及び予習の学習時間の目安は週3時間程度									
教材 教科書 参考書	参考書：『朝倉日英対照言語学シリーズ4 形態論』 漆原 朗子 編 ISBN: 978-4-254-51574-9									
留意 点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	統語論 A		科目ナンバリング	L-ESLA2-24. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E51008		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	遊佐 麻友子			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>英語の文がどのように分析されるのかを学び、それらに関する理論を理解する。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシー8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達 目標	英語の構造の分析を通して統語論の基礎を身につける。授業で取り上げた現象について統語論的手法で分析し、説明できる。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	オリエンテーション		統語論という研究分野について学ぶ							
第2回	範疇		語の範疇を理解する							
第3回	範疇分析 (1)		範疇について学ぶ					グループワーク		
第4回	範疇分析 (2)		文形成の規則を範疇に基づいて分析する							
第5回	言語構造 (1)		語の組み立ての基礎について学ぶ					グループワーク		
第6回	言語構造 (2)		語の組み立てについて学ぶ (併合・構成素・階層性・構造関係)					グループワーク		
第7回	言語構造 (3)		語の組み立てについて学ぶ (主要部・補部・指定部・付加詞・Xバー理論)							
第8回	練習		句構造分析の練習する					グループワーク		
第9回	構成素テスト (1)		構成素テストを学ぶ(等位接続・置換)					グループワーク		
第10回	構成素テスト (2)		構成素テストを学ぶ(省略・移動)					グループワーク		
第11回	構造関係 (1)		極性認可に基づいて構造関係について学ぶ					グループワーク		
第12回	構造関係 (2)		照応形束縛に基づいて構造関係について学ぶ					グループワーク		
第13回	練習		構成素・構造関係の分析を練習する					グループワーク		
第14回	練習		ゼロ構成素を伴う構造の分析を練習する					グループワーク		
第15回	まとめ		前期の学習内容を振り返る							
評価 方法 及び 評価 基準	試験50%、授業内で行う課題30%、授業への参加20% 統語論の基礎を学ぶために授業で取りあげた言語構造の分析を理解できたか、到達目標に向けて課題ができたかを評価する。									
課題 等	授業の内容に基づいて適宜課題を課す。課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。									
事前 事後 学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問できるように準備する。 復習及び予習の学習時間の目安は週1時間程度									
教材 教科書 参考書	授業内で指示する。プリント配布。									
留意 点	授業の内容に基づいて適宜課題を課す。課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。 授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問できるように準備する。 復習及び予習の学習時間の目安は週1時間程度									

科目名	統語論B		科目ナンバリング	L-ESLA2-25. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E51009		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	遊佐 麻友子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>英語の文がどのように分析されるのかを学び、それらに関する理論を理解する。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシー8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	英語の構造の分析を通して統語論の基礎を身につける。授業で取り上げた現象について統語論的手法で分析し、説明できる。									
授 業 計 画										
回	主 題		授業内容・授業時間外の学修					備 考		
第1回	オリエンテーション		統語論という研究分野について学ぶ 基本的な構造分析を理解する							
第2回	変形操作としての移動		文形成に求められる移動操作について学ぶ							
第3回	主要部移動		主要部移動について学ぶ					グループワーク		
第4回	本動詞のみを含む文の派生		本動詞のみを含む文の派生について学ぶ Affix Hopping/Do挿入について学ぶ					グループワーク		
第5回	練習		主要部移動の分析を練習する					グループワーク		
第6回	wh移動		wh移動について学ぶ					グループワーク		
第7回	wh移動の移動箇所・移動プロセス		wh移動の移動箇所・移動プロセスについて学ぶ					グループワーク		
第8回	wh移動に課せられる制約		wh移動に課せられる制約について学ぶ					グループワーク		
第9回	Aバー移動について学ぶ		Aバー移動について学ぶ					グループワーク		
第10回	練習		Aバー移動の分析を練習する					グループワーク		
第11回	A移動		A移動について学ぶ					グループワーク		
第12回	動詞句内主語仮説		動詞句内主語仮説について学ぶ					グループワーク		
第13回	A移動とAバー移動の違い		A移動とAバー移動の違いについて学ぶ					グループワーク		
第14回	練習		A移動の分析を練習する					グループワーク		
第15回	まとめ		後期の学習内容を振り返る							
評価方法及び評価基準	試験50%、授業内で行う課題30%、授業への参加20% 統語論の基礎を学ぶために授業で取りあげた言語構造の分析を理解できたか、到達目標に向けて課題ができたかを評価する。									
課題等	授業の内容に基づいて適宜課題を課す。課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。									
事前事後学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問できるように準備する。 復習及び予習の学習時間の目安は週1時間程度									
教材教科書参考書	授業内で指示する。プリント配布。									
留意点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	言語習得 A		科目ナンバリング	L-ESLA2-28. SN	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E51012		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	遊佐 麻友子			授業 形態	講義	単独	
	日本語教員	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>ヒトの母語獲得について、先行研究に基づく観察と理論について学ぶ。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシー8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	母語獲得についてどのようなことが研究されているか理解し、説明および考察できる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			母語獲得研究という研究分野について学ぶ						
第2回	言語音の獲得			言語音の知覚・母語の音韻の獲得について学ぶ						
第3回	言語の発声			語を発声するまでの過程を学ぶ						
第4回	語の獲得(1)			分節化について学ぶ					グループワーク	
第5回	語の獲得(2)			語意の理解について学ぶ					グループワーク	
第6回	形態素の獲得(1)			形態素の獲得の過程を学ぶ						
第7回	形態素の獲得(2)			観察されるエラーについて学ぶ 形態素発達について分析をする					グループワーク	
第8回	文の習得(1)			一語文、二語文、多語文について学ぶ						
第9回	文の習得(2)			助詞・語順等の規則の獲得について学ぶ					グループワーク	
第10回	文の習得(3)			複雑な構文の獲得について学ぶ						
第11回	言語入力(1)			言語入力の特徴について学ぶ					グループワーク	
第12回	言語入力(2)			肯定証拠・否定証拠について学ぶ					問題解決型学習	
第13回	言語習得理論			普遍文法・パラメータに基づく言語習得理論について学ぶ					問題解決型学習	
第14回	まとめ			既習事項のまとめを行う						
第15回	振り返り			前期の学習内容を振り返る						
評価方法及び評価基準	試験50%、授業内で行う課題30%、授業への参加20% 母語獲得研究について授業で取り上げたことを理解できるか、また、その理解に基づいた考察ができるかを評価する。									
課題等	学習事項に関してグループワークを通して理解を深める。									
事前事後学修	予習復習を通して、学習内容について理解したり疑問点を考え、授業内の活動に備える。									
教材教科書参考書	『ことばの習得 母語獲得と第二言語習得』 鈴木孝明、白畑知彦 著 ISBN: 978-4-87424-544-6									
留意点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	言語習得B		科目ナンバリング	L-ESLA2-29. SN	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E51013		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	遊佐 麻友子			授業 形態	講義	単独	
	日本語教員	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>ヒトの第二言語獲得について、先行研究に基づく観察と理論について学ぶ。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシー8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	ヒトの第二言語獲得について、先行研究に基づく観察と理論について学ぶ。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	オリエンテーション			第二言語習得研究で扱う分野について学ぶ						
第2回	バイリンガリズム			バイリンガリズムについて学ぶ						
第3回	第二言語習得に対する母語の影響			第二言語習得に対する母語の影響を学ぶ				グループワーク		
第4回	行動主義			行動主義理論と対照分析仮説を学ぶ						
第5回	誤り分析			誤り分析を学ぶ				グループワーク		
第6回	自然な習得順序と創造的構築仮説			自然な習得順序と創造的構築仮説を学ぶ						
第7回	第二言語習得と一般認知能力の関係			第二言語習得と一般認知能力の関係を学ぶ						
第8回	第二言語習得のインプット			第二言語習得のインプットについて学ぶ						
第9回	インプットと習得理論			インプットから言語習得の理論（普遍文法）について考える				グループワーク		
第10回	学習開始年齢			学習開始年齢と第二言語習得の関係について学ぶ						
第11回	学習者要因（1）			学習者要因（動機づけ）について学ぶ				グループワーク		
第12回	学習者要因（2）			学習者要因（個性/言語適正/知性・知能/学習スタイル）について学ぶ				グループワーク		
第13回	教室における第二言語習得（1）			インプット仮説/アウトプット仮説/インタラクション仮説/気づき仮説について学ぶ				問題解決型学習		
第14回	教室における第二言語習得（2）			指導に関する理論について学ぶ				問題解決型学習		
第15回	振り返り			後期の学習内容を振り返る						
評価方法及び評価基準	<p>試験50%、授業内で行う課題30%、授業への参加20%</p> <p>第二言語獲得研究について授業で取り上げたことを理解できるか、また、その理解に基づいた考察ができるかを評価する。</p>									
課題等	学習事項に関してグループワークを通して理解を深める。									
事前事後学修	予習復習を通して、学習内容について理解したり疑問点を考え、授業内の活動に備える。									
教材教科書参考書	『ことばの習得 母語獲得と第二言語習得』 鈴木孝明、白畑知彦 著 ISBN: 978-4-87424-544-6									
留意点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	英語学演習 I A (a)		科目ナンバリング	L-ESLA3-40. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	E51022		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	遊佐 麻友子			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>言語学の研究論文を読むことを通して、言語学の研究課題や研究手法について学ぶ。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達目標	<p>言語研究、特に母語/第二言語獲得や統語論等の研究について正しく論文を理解する。また研究手法として、心理言語学で用いている研究手法を中心に学ぶ。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	オリエンテーション			授業の進め方を確認する						
第2回	研究の方法 (1)			仮説形成について学ぶ				グループワーク		
第3回	研究の方法 (2)			演繹法と帰納法について学ぶ				グループワーク		
第4回	論文の構成			論文の構成について学ぶ				グループワーク		
第5回	論文の検索・評価			論文の検索方法や評価方法を学ぶ				グループワーク		
第6回	論文の読解 (1)			課題の論文を読解し、説明する				グループワーク		
第7回	論文の読解 (2)			課題の論文を読解し、説明する				グループワーク		
第8回	論文の読解 (3)			課題の論文を読解し、説明する				グループワーク		
第9回	論文の読解 (4)			課題の論文を読解し、説明する				グループワーク		
第10回	論文の読解 (5)			課題の論文を読解し、説明する				グループワーク		
第11回	論文の読解 (6)			課題の論文を読解し、説明する				グループワーク		
第12回	論文の読解 (7)			課題の論文を読解し、説明する				グループワーク		
第13回	論文の読解 (8)			課題の論文を読解し、説明する				反転学習		
第14回	レポートの書き方			APAの使い方を学ぶ				グループワーク		
第15回	レポートの書き方			レポートの構成やフォーマットなどについて学ぶ						
評価方法及び評価基準	<p>発表20%、課題とレポート60%、授業への参加20%</p> <p>言語学の研究の方法を学ぶために読む研究論文を理解できているか、それらを踏まえて自分でテーマを選び研究の手法を考えることができているかを評価する。</p>									
課題等	<p>授業の内容に基づいて、適宜課題を課す。課題については授業内で確認・フィードバックを行う。</p>									
事前事後学修	<p>授業で学んだことを復習・整理しながら課題に取り組む。授業で取り上げる研究論文を読み、その内容について理解し、考え、疑問に思う点などを準備し、授業の活動に備える。レポートを書くにあたっては、授業で学んだことを踏まえて、自分でテーマを決め関連する文献を読みながら進める。</p>									
教材教科書参考書	<p>授業内で指示する。プリント配布。</p>									
留意点	<p>欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。</p> <p>クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。</p>									

科目名	英語学演習 I A (b)		科目ナンバリング	L-ESLA3-40. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	E51025		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>This seminar will provide students opportunities to explore the intersection of culture and linguistics through research, discussion, and presentation. The goal is to support students in preparing to write their graduation thesis.</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシー5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達 目標	<p>This course gives students the chance to research and explore a wide variety of topics related to culture and linguistics. Students are given the tools needed to understand the fundamental connection between culture and language. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions.</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	Introduction and Orientation		Instructor explains course objectives. Students discuss the connection between culture and linguistics.					Introduction and Orientation		
第2回	What is language?		Students will learn about the connection between language, society, and culture.					Group discussions		
第3回	Language and Culture		Students will learn about the interconnections between language and culture.					Group discussions		
第4回	Language and Identity		Students will learn how language is connected to personal and social identity.					Group discussions		
第5回	Pronouns, Language change, and the Grammar Police		Students will learn about power differences and how language can reinforce them.					Group discussions		
第6回	Research methods discussion		Students will learn current research methods and understand how to find information needed for the presentations.					Group discussions		
第7回	Student presentations		Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote					Student Presentation		
第8回	Dirty Language		Students will learn about swearing and offensive language					Group discussions		
第9回	Derogation, toxicity, and power imbalance		Students will learn about how language can be used to injure.					Group discussions		
第10回	Student group presentations		Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote					Student Presentation		
第11回	Music as expression of identity		Students will learn how groups use music to expression themselves.					Group discussions		
第12回	Music and reclaiming identity		Students will learn how groups can us music to reclaim their linguistic identity.					Group discussions		
第13回	Student presentations		Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote					Group Presentation		
第14回	Cross-cultural discourse		Students will learn about how different cultures interact.					Group discussions		
第15回	Feedback and conclusions: Research paper due		Students will receive feedback on their work in the course.					Research Paper due		
評価 方法 及び 評価 基準	<p>Student presentations (content, English accuracy, and presentation style graded using a rubric): (3 X 15 pts: 45pts) 45%; Research paper (7 pages long about a topic of culture and linguistics; it will be graded on content and English accuracy using a scoring rubric): 35%; Homework, classroom, and English Department cultural event participation: 20%</p>									
課題 等	<p>Missed assignments should be submitted as soon as possible: the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.</p>									
事前 事後 学修	<p>Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.</p>									
教材 教科書 参考書	<p>Essentials of Linguistics, 2nd edition by Catherine Anderson; Bronwyn Bjorkman; Derek Denis; Julianne Doner; Margaret Grant; Nathan Sanders; and Ai Taniguchi. This textbook is in the Creative Commons and is free to download. The professor will explain how to obtain the textbook and provide additional reading assignments.</p>									
留意 点	<p>Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Reports must be submitted in accordance with Hirosaki Gakuin University policies and procedures. One class session will be given in on-demand format. Students will be notified ahead of time.</p>									

科目名	英語学演習ⅠB(a)		科目ナンバリング	L-ESLA3-41.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	E51023		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	遊佐 麻友子			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>言語学研究について、自らテーマを選んで調査する。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達 目標	言語学研究、特に言語習得（母語獲得/第二言語獲得）や統語論等の研究について理解し、心理言語学的手法を用いて調査する。									
授 業 計 画										
回	主 題	授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修							備 考	
第1回	オリエンテーション	授業の進め方を確認する								
第2回	研究テーマ	研究テーマを決める								
第3回	研究資料の収集	研究資料の収集を行う								
第4回	発表資料の作成技術	発表資料の作成技術について学ぶ								
第5回	発表（1）	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第6回	発表（2）	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第7回	発表（3）	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第8回	発表（4）	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第9回	発表（5）	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第10回	発表（6）	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第11回	発表（7）	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第12回	発表（8）	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第13回	発表（9）	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第14回	発表（10）	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第15回	レポート	研究テーマと発表内容をまとめる。								
評価 方法 及び 評価 基準	レポート60%、発表20%、授業への参加20% 自分の選んだテーマに関する先行研究を収集し、理解し、意見を持つことができているか、また、その意見が言語学的知識に基づいているか、論理的であるかなどを評価する。									
課題 等	授業の内容に基づいて、適宜課題を課す。課題については授業内で確認・フィードバックを行う。									
事前 事後 学修	自分のテーマに関連する文献を探したり読んだりして、各授業予定に合わせて学習を進める。授業外学習時間の目安は週3時間程度									
教材 教科書 参考書	授業内で指示する。プリント配布。									
留意 点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	英語学演習 I B (b)		科目ナンバリング	L-ESLA3-41. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	E51026		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>This seminar will provide students opportunities to explore the intersection of culture and linguistics through research, discussion, and presentation. The goal is to support students in preparing to write their graduation thesis.</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシー5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達 目標	<p>This course gives students the chance to research and explore a wide variety of topics related to culture and linguistics. Students are given the tools needed to understand the fundamental connection between culture and language. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions.</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction and Orientation			Instructor explains course objectives. Students will learn about words and culture.				Group discussions		
第2回	Sociolinguistics and language change			Students will learn how language and society are connection and change.				Group discussions		
第3回	Sociolinguistic correlations: Place			Students will learn how the concept of place.				Group discussions		
第4回	Sociolinguistic correlations: Social status			Students will learn about social status and language.				Group discussions		
第5回	Student presentations			Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote				Presentations		
第6回	Sociolinguistic correlations: Gender			Students will learn about gender and language use.				Group discussions		
第7回	Sociolinguistic correlations: Ethnicity			Students will learn about the connection between language and ethnicity.				Group discussions		
第8回	Student presentations			Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote				Student Presentation		
第9回	Current issues: Native Speaker			Students will learn about the 'native speaker' problem.				Group discussions		
第10回	Current Issues: Authenticity			Students will learn about cultural authenticity.				Group discussions		
第11回	Student presentations			Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote				Student Presentation		
第12回	Translating culture			Students will learn about the difficulties in translating culture.				Group discussions		
第13回	Student group research day: Research paper explanation			Students will research their final topic.				Group discussions		
第14回	Review of materials covered			Students will reviewed everything taught throughout the course and present their final reports.				Group Discussions		
第15回	Senior Thesis Poster Presentation			Students will learn about what is expected for their graduation thesis poster presentations				1月25日(予定)		
評価 方法 及び 評価 基準	<p>Student presentations (content, English accuracy, and presentation style graded using a rubric): (3 X 15 pts: 45pts) 45%; Research paper (10 pages about a topic; it will be graded on content and English accuracy using a scoring rubric): 35%; Participation in Senior Thesis presentation: 20%</p>									
課題 等	<p>Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.</p>									
事前 事後 学修	<p>Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.</p>									
教材 教科書 参考書	<p>Essentials of Linguistics, 2nd edition by Catherine Anderson; Bronwyn Bjorkman; Derek Denis; Julianne Doner; Margaret Grant; Nathan Sanders; and Ai Taniguchi. This textbook is in the Creative Commons and is free to download. The professor will explain how to obtain the textbook and provide additional reading assignments.</p>									
留意 点	<p>Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Reports must be submitted in accordance with Hirosaki Gakuin University policies and procedures. One class session will be given in on-demand format. Students will be notified ahead of time.</p>									

科目名	英語学演習Ⅱ A (b)		科目ナンバリング	L-ESLA3-60. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	前期
			科目コード	E51027		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>This seminar will provide students opportunities to explore the intersection of culture and linguistics through research, discussion, and presentation. The goal is to help students understand research methods and write research papers and their graduation thesis.</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシー5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達目標	This seminar will provide students opportunities to explore the intersection of culture and linguistics through research, discussion, and presentation. The goal is to help students understand research methods and write research papers and their graduation thesis.									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction and Orientation			Instructor explains course objectives and approaches to research and thesis writing.						
第2回	Review of research methods			Students will refresh their understanding of research methods through group discussions.				Group discussions		
第3回	Discussion of graduation research topics			Students will brainstorm their graduation research topics as a class to refine the topic of their graduation thesis.				Brainstorming Sheet		
第4回	Student research topic presentations			Students will present their graduation research topic to the class including the chapter topics they will explore.				Research paper outline due		
第5回	Student research plan presentations			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research plan presentation		
第6回	Finding appropriate resources			Students will discuss how to find quality resources to support their research papers.				Research Plan Update		
第7回	Student research presentations 1			Students will present an update to their research topic. Professor will provide format for resource list.				Research Plan Update		
第8回	Student research presentations 2			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Resource List due		
第9回	Student research presentations 3			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Notetaking Update		
第10回	Student research presentations 4			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Notetaking Update		
第11回	Research paper introduction writing			Students will learn what is required for the introduction of their research thesis, to include thesis statement writing.				Notetaking Update		
第12回	Student research presentations 5			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Thesis Statement Worksheet due		
第13回	Research paper chapter styles			Students will learn how to format the chapters in their research thesis.				Notetaking Update		
第14回	Graduation research status update			Students will present their research methods to include their ideas for chapter topics.				Research method Presentation		
第15回	Feedback and conclusions			Students will review their research progress thus far and make plans for future research.				Thesis Introduction due		
評価方法及び評価基準	Research paper (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric): 40%; Presentations (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric where appropriate): 30%, Homework, classroom, and English Department cultural event participation: 30%									
課題等	Teamsにより適宜指示します。レポート課題はTeamsにより提出する									
事前事後学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材教科書参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone or notebook computer for classroom activities.									
留意点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible. Reports must be submitted in accordance with Hirosaki Gakuin University policies and procedures. One class session will be given in on-demand format. Students will be notified ahead of time.									

科目名	英語学演習ⅡB (b)		科目ナンバリング	L-ESLA3-61.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	後期
			科目コード	E51028		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】 This seminar will provide students opportunities to explore the intersection of culture and linguistics through research, discussion, and presentation. The goal is to support students in finishing writing their graduation thesis. 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシー5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達 目標	This course gives students the chance to research and explore a wide variety of topics related to culture and linguistics. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions.									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備 考		
第1回	Introduction and Orientation			Instructor explains course objectives and reviews approaches to research and thesis writing discussed in spring semester.				First Draft of Research Paper		
第2回	Student research topic presentations			Students will present an update of their graduation research to the class including the chapters they are exploring.				Research Progress Presentation		
第3回	Student research presentations 1			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research Status Update		
第4回	Student research presentations 2			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research Status Update		
第5回	Student research presentations 3			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research Status Update		
第6回	Research paper conclusion writing			Students will learn how to write a conclusion to the research paper to be included in the second draft of their paper.				Research Status Update		
第7回	Student research presentations 4			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research Status Update		
第8回	Student research presentations 5			Students will present their second draft of their paper and explain their plans for continued research with the class.				Second Draft of Research Paper		
第9回	Student research presentations 6			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research Status Update		
第10回	Research paper Works Cited list			Students will review how to draft a properly formatted Works Cited list and practice in-text citations.				Research Status Update		
第11回	Student research presentations 8			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research Status Update		
第12回	Research paper submission			Students will submit their final research paper.				Research Paper		
第13回	Oral interview explanation and practice			Students will learn how to do an oral interview and practice presenting their research paper.				Research Paper Summary due		
第14回	Academic Poster Creation			Students will learn about & create a poster about their graduation research for the English Dept. Poster Pres.				Group discussions		
第15回	Senior Thesis Poster Presentation			Students will present the contents of their graduation theses at the department poster event. (1月25日予定)				Poster Presentation		
評価 方法 及び 評価 基準	Presentations and Research paper (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric): 50%; Research poster presentation (will be graded on information and English language accuracy according to a rubric) and participation in the English Department Graduation Thesis poster presentation session: 20%; Homework, classroom participation: 20%; Research summary (graded on content and English language accuracy according to rubric): 10%.									
課題 等	Teamsにより適宜指示します。レポート課題はTeamsにより提出する									
事前 事後 学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材 教科書 参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone or notebook computer for classroom activities.									
留意 点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible. Reports must be submitted in accordance with Hirotsaki Gakuin University policies and procedures. One class session will be given in on-demand format. Students will be notified ahead of time.									

科目名	欧米文学・文化概論A		科目ナンバリング	L-ESL11-00.EE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	E53022		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	神戸 直樹			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>[授業の主旨] Introduction to American Culture: This course provides students with an introduction to and knowledge of different aspects of American culture. In so doing, it uses cinema and other media productions which reflect and comment on the people, culture, society, and social issues in the United States. Throughout the semester, we will pay attention to social issues related to race, class, gender, sexuality, (dis)ability as well as political issues in relations to several iconic US Presidents such as G. W. Bush, Obama, and Trump. Language of Instruction: English and Japanese [ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項] ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	<p>1) Students will become familiar with different aspects of American culture. 2) Students will develop an understanding of the people, culture, society, and social issues in the United States through cinema and other media productions. 3) Students will develop the ability to critically analyze and discuss key social/cultural/political issues in the United States.</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	Introduction		Introductory Activities							
第2回	Overview of Culture and American Film		Lecture & Discussion: Culture, Representation, and American Film							
第3回	Race in the US		Lecture & Discussion: How Have Different Racial Groups Been Represented in the US?							
第4回	Ethnicity in the US		Quiz 1: Lecture & Discussion: How Have Different Ethnic Groups Been Represented in the US?							
第5回	Femininity in the US		Lecture & Discussion: How Have Women Been Represented in the US?							
第6回	Masculinity in the US		Group Presentation: Lecture & Discussion: How Have Men Been Represented in the US?							
第7回	Sexualities in the US		Lecture & Discussion: How Have Different Sexualities Been Represented in the US?							
第8回	(Dis)ability in the US		Quiz 2: Lecture & Discussion: How Have (Dis)abilities Been Represented in the US?							
第9回	Hate Speech and Crime in the US		Lecture & Discussion: Types and Characteristics of Hate Speech & Crime in the US							
第10回	Gun Violence and Control in the US		Group Presentation: Lecture & Discussion: Guns and American Culture							
第11回	Cold War and the Other		Lecture & Discussion: Representation of the Other (e.g., Russia)							
第12回	9/11 and Bush's America		Lecture & Discussion: George W. Bush and Good vs. Evil							
第13回	Politics: Obama's America		Quiz 3: Lecture & Discussion: "Yes, We Can" and America							
第14回	Politics: Trump's America		Group Presentation: Lecture & Discussion: Trump and Twitter Politics							
第15回	Review		Final Paper Due							
評価方法及び評価基準	<p>Active participation (20%) Reading Responses (20%) Quizzes (20%) Group Presentation (10%) Final Paper (30%)</p>									
課題等	See above									
事前事後学修	180 minutes/week									
教材教科書参考書	<p>No assigned textbook for the course. Reading assignments will be provided by the instructor. References: Benshoff, H. M., & Griffin, S. (2009). <i>America on film: Representing race, class, gender, and sexuality at the movies</i> (2nd ed.). Wiley-Blackwell (978-1-4051-7055-0) 越智道雄・小澤奈美恵・塩谷幸子、2015、『映画で読み解く現代アメリカ：オバマの時代』、明石書店。(978-4750341804) 栗林輝夫・大宮有博・長石美和、2013、『シネマで読むアメリカの歴史と宗教』、キリスト新聞社。(978-4873956367) 渡辺将人、2024、『アメリカ映画の文化副読本』、日経BP 日本経済新聞出版。(978-4296119479)</p>									
留意点	Preparation and active class participation are critical for succeeding in this course.									

科目名	欧米文学・文化概論B		科目ナンバリング	L-ESL11-01.EE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目コード	E53023		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 この授業ではイギリスの文化的アイデンティティを考えるうえでのキーワードに焦点を当てながら、様々な側面からイギリス文化を見て行き、また他の地域の場合と比較していきます。3年、4年次において関心のあるテーマを見つけ深めていくための土台となるように、文化・文学に対してできるだけ広範な視野を身につけることを目指します。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	文化とは何か、どのような視点から考察できるのかを理解する。文学作品や映画を文化的事象の表現形態として捉え鑑賞できるようにする。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	イントロダクション		授業の進め方と授業に関する留意点についての説明 次回の授業のための予習					ガイダンス		
第2回	カルチャーの定義・アイデンティティの定義		カルチャーとは何か？ アイデンティティとは何か？					ディスカッション・解説		
第3回	表象の身振りー演劇 (1)		演劇の歴史					グループ発表・解説		
第4回	表象の身振りー演劇 (2)		シェイクスピア					読解・解説		
第5回	広がる地平ー鉄道の誕生		鉄道の影響力について					グループ発表・解説		
第6回	広がる地平ー植民地主義		植民地主義の産物について					グループ発表・解説		
第7回	はばたくメディア		ジャーナリズムと出版の進展					グループ発表・解説		
第8回	子どもへのまなざし		子どもの扱い方の歴史					グループ発表・解説		
第9回	児童文学の誕生		キャロルとアリスの物語					グループ発表・解説		
第10回	ジェントルマンのたしなみー教育		イギリスにおける教育史					グループ発表・解説		
第11回	日本との比較		子どもやその教育の観点から、日本とイギリスの場合を比較					オンデマンド授業		
第12回	女性の歴史		女性の扱い方、フェミニズムの動き					グループ発表・解説		
第13回	大英帝国		大英帝国の光と影					グループ発表・解説		
第14回	パラダイム・シフト		存在の鎖からモダニズム・ポストモダニズムまで					グループ発表・解説		
第15回	英語の発展		ゲルマンの部族語から世界語へ					グループ発表・解説		
評価方法及び評価基準	授業への参加態度 20%、グループ発表 20%、課題 20%、レポート課題 40% キーワードをしっかりと捉え、理解しているかを図ります。									
課題等	グループ発表のための準備、オンデマンド時の課題、最終レポート課題									
事前事後学修	原典講読予習、グループ発表の準備、レポート作成のための学習等を含めて週3時間以上									
教材教科書参考書	『概説 イギリス文化史』、ミネルヴァ書房、2020年 ISBN978-4-623-03564-9									
留意点	第11回目はオンデマンド授業を行います。受講者は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 (※「授業動画を視聴し」の箇所は、必要に応じ「授業音声を取録し」に変更)									

科目名	イギリス原文講読		科目ナンバリング	L-ESL12-20. EE	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E53024		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 この授業では、1年次に学習した英語の基礎的知識を踏まえて、より複雑な英文を読む練習をします。3年、4年次におけるレポートや論文作成の際に必要なとなる英語文献の読解に役立つような力を身につけていきます。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	より専門分野に近い英語文献をしっかりと読解し、理解できるようになる。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	Introduction		授業の流れ、内容の説明、次週の授業の予習						ガイダンス	
第2回	The Unreliable Narrator 1		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Kazuo Ishiguroの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第3回	The Unreliable Narrator 2		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Kazuo Ishiguroの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第4回	The Unreliable Narrator 3		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Kazuo Ishiguroの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第5回	The Unreliable Narrator 4		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Kazuo Ishiguroの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第6回	The Unreliable Narrator 5		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Kazuo Ishiguroの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第7回	The Unreliable Narrator 6		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Kazuo Ishiguroの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						解説・ディスカッション	
第8回	Kazuo Ishiguroの作品についてのまとめ		確認ポイントの指摘・課題						オンデマンド授業	
第9回	The Stream of Consciousness 1		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Virginia Woolf論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第10回	The Stream of Consciousness 2		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Virginia Woolf論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第11回	The Stream of Consciousness 3		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Virginia Woolf論を取り上げて精読・解説、予習・復習						講義・解説/ディスカッション	
第12回	Teenage Scaz 1		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Salinger論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第13回	Teenage Scaz 2		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Salinger論を取り上げて精読・解説、復習						演習・解説	
第14回	Teenage Scaz 3		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Salinger論を取り上げて精読・解説、復習						講義・解説/ディスカッション	
第15回	WoolfとSalingerの作品についてのまとめ		確認ポイントの指摘・課題						オンデマンド授業	
評価方法及び評価基準	<p>授業への参加態度20%、課題80% (40%×2) 英文を正確に捉え、しっかりと理解できているかを図ります。</p>									
課題等	課題を2回課しますが、オンラインでコメント、採点して返却します。									
事前事後学修	毎回の授業での読解の予習・復習、2回の課題のための学習などで週あたりの学習時間3時間以上									
教材教科書参考書	David Lodge, <i>The Art of Fiction</i> , ed. by Norio Uchida and Katsuaki Watanabe (EIHOSHA, 1996) ISBN4-269-23063-0									
留意点	teamsを併用して課題を課します。第8及び15回目はオンデマンド授業を行います。受講者は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 (※「授業動画を視聴し」の箇所は、必要に応じ「授業音声を取扱し」に変更)									

科目名	アメリカ原文講読		科目ナンバリング	L-ESL12-21.EE	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E53025		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>[授業の主旨]</p> <p>シャーウッド・アンダソンの「森の中の死」を精読する</p> <p>[ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項]</p> <p>ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達 目標	卒業論文の執筆の際に役立つような文献の読解力を身につける。英語で書かれた文学を学ぶ中で、英語による表現力への理解を深めるとともに、英語が使われている国、地域の文化について理解する。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	オリエンテーション		発表担当の割り当て							
第2回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第3回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第4回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第5回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第6回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第7回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第8回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第9回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第10回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第11回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第12回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第13回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第14回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
第15回	「森の中の死」を精読する		分担を決めて精読していく						反転学習	
評価 方法 及び 評価 基準	2/3以上の出席者につき、レポート（60%）及び平常点評価（40%）。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題 等	課題は次時間に返却する。また、返却時にレポートについてコメントを加える。									
事前 事後 学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分 事前に日本語訳のレポートを作成し、提出してもらう。									
教材 教科書 参考書	Sherwood Anderson, <i>Death in the Woods & Other Stories</i> (南雲堂) 978-4-523-00101-0									
留意 点	中辞典を持参し、いつでも参照可能にすること									

科目名	イギリス文学史 A		科目ナンバリング	L-ESL11-02. UE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	E52054		30時間				
区分	専門教育科目	選択	担当者名	川浪 亜弥子				授業 形態	講義	単独
	教員免許	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 文学作品を通して、その作品が書かれた時代の文化や歴史を知ることができます。この授業では、イギリス文学の流れを時代ごとに追っていき、代表的な作品を紹介します。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	イギリス文学の歴史についての大まかな流れを理解し、どのような文化的・歴史的な背景があるのかを把握する。英語の歴史の変遷および国際共通語としての英語の実態についての理解も促す。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	イントロダクション			授業の進め方についての説明					ガイダンス	
第2回	古英語・中英語文学 (1)			歴史的な背景					講義・解説	
第3回	古英語・中英語文学 (2)			古英語・中英語文学のアウトライン、代表的な作品					講義・解説/ディスカッション	
第4回	16世紀の文学 (1)			歴史的な背景					講義・解説	
第5回	16世紀の文学 (2)			16世紀の文学のアウトライン、代表的な作品・作家 次回授業のための予習時間60分					講義・解説	
第6回	16世紀の文学 (3)			Shakespeareの作品の抜粋を読む					講義・解説/ディスカッション	
第7回	17世紀の文学 (1)			歴史的な背景					講義・解説	
第8回	17世紀の文学 (2)			17世紀の文学のアウトライン、代表的な作家					講義・解説/ディスカッション	
第9回	18世紀の文学 (1)			歴史的な背景					講義・解説	
第10回	18世紀の文学 (2)			18世紀の文学のアウトライン（散文）、代表的な作家					講義・解説	
第11回	18世紀の文学 (3)			18世紀の文学のアウトライン（詩）、代表的な作家					講義・解説/ディスカッション	
第12回	ロマン主義の時代 (1)			歴史的な背景					講義・解説	
第13回	ロマン主義の時代 (2)			ロマン主義の文学のアウトライン、代表的な作家、作品 次回授業のための予習					講義・解説	
第14回	ロマン主義の時代 (3)			ロマン主義詩人の作品の抜粋を読む					講義・解説/ディスカッション	
第15回	まとめ			文学史のキーワードでこれまでの流れを振り返る					オンデマンド授業	
評価方法及び評価基準	授業に対する学習意欲・態度20%、オンデマンド時の課題 30%、レポート1回 50% で総合評価します。									
課題等	作品を読む際には、事前の予習が必要です。予習時間目安：60分以上。									
事前事後学修	予習・復習時間、レポート作成などのために週あたりの学習時間3時間以上									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課します。第15回目はオンデマンド授業を行います。受講者は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 (※「授業動画を視聴し」の箇所は、必要に応じ「授業音声を取録し」に変更)									

科目名	イギリス文学史B		科目ナンバリング	L-ESL11-03. UE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目コード	E52055		30時間				
区分	専門教育科目	選択	担当者名	川浪 亜弥子				授業 形態	講義	単独
	教員免許	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 文学作品を通して、その作品が書かれた時代の文化や歴史を知ることができます。この授業では、イギリス文学の流れを時代ごとに追っていき、代表的な作品を紹介します。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	イギリス文学の歴史についての大きな流れを理解し、どのような文化的・歴史的な背景があるのかを把握する。英語の歴史の変遷および国際共通語としての英語の実態について理解も促す。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	イントロダクション			授業の進め方についての説明					ガイダンス	
第2回	ヴィクトリア時代 (1)			歴史的な背景					講義・解説	
第3回	ヴィクトリア時代 (2)			ヴィクトリア時代の文学のアウトライン、小説、ロマンスの概念					講義・解説	
第4回	ヴィクトリア時代 (3)			ヴィクトリア時代の文学の代表的な作家、作品 次回の授業のための予習時間60分					講義・解説	
第5回	ヴィクトリア時代 (4)			ヴィクトリア時代の文学の代表的な作品の抜粋を読む					講義・解説/ディスカッション	
第6回	ヴィクトリア時代のまとめ			文学史のキーワードで振り返る					オンデマンド授業	
第7回	20世紀前半の文学 (1)			歴史的な背景					講義・解説	
第8回	20世紀前半の文学 (2)			20世紀前半の文学のアウトライン、代表的な作家、作品 次回の授業のための予習時間60分					講義・解説	
第9回	20世紀前半の文学 (3)			20世紀前半の文学の代表的な作品の抜粋を読む					講義・解説/ディスカッション	
第10回	20世紀後半から現代まで (1)			歴史的な背景					講義・解説	
第11回	20世紀後半から現代まで (2)			20世紀後半から現代に至る文学のアウトライン、代表的な作家、作品 (1)					講義・解説	
第12回	20世紀後半から現代まで (3)			20世紀後半から現代に至る文学のアウトライン、代表的な作家、作品 (2) 次回の授業のための予習時間60分					講義・解説	
第13回	20世紀後半から現代まで (4)			代表的な作品の抜粋を読む (1) 次回の授業のための予習時間60分					講義・解説	
第14回	20世紀後半から現代まで (5)			代表的な作品の抜粋を読む (2)					講義・解説/ディスカッション	
第15回	20世紀のまとめ			文学史のキーワードで振り返る					オンデマンド授業	
評価方法及び評価基準	授業に対する学習意欲・態度20%、オンデマンド時の課題 30%、レポート1回 50% で総合評価します。									
課題等	作品を読む際には、事前の予習が必要です。予習時間目安：60分以上。									
事前事後学修	予習・復習時間、レポート作成などのために週あたりの学習時間3時間以上									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課します。第6及び15回目はオンデマンド授業を行います。受講者は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 (※「授業動画を視聴し」の箇所は、必要に応じ「授業音声を取録し」に変更)									

科目名	アメリカ文学史 A		科目ナンバリング	L-ESL11-04. UE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	E52056		30時間				
区分	専門教育科目	選択	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	講義	単独	
	教員免許	必修								
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 アメリカ文学の主要な作品を原文で読みながら、作品の背後にあるアメリカ文化について学んでいく。サリンジャーからテネシー・ウィリアムズあたりまでを扱う。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達 目標	2年次以降の専門科目の学習に必要なアメリカの文学、文化の基礎知識を理解し説明できるようになる。									
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修					備考	
第1回	アメリカ文化の特質について			亀井俊介のアメリカ文化論を読む。						
第2回	サリンジャーの小説について			『キャッチャー・イン・ザ・ライ』を原文で読む。					反転学習	
第3回	カポーティとマッカーズ			二人の南部作家の作品を原文で読む。					反転学習	
第4回	マラマッドの小説について			『アシスタント』を原文で読む。					反転学習	
第5回	ライトの小説について			『ブラック・ボーイ』を原文で読む。					反転学習	
第6回	ミッチェルの小説について			『風と共に去りぬ』を原文で読む。					反転学習	
第7回	スタインベックとサローヤン			『怒りのぶどう』と『我が名はアラム』を原文で読む。					反転学習	
第8回	フォークナーの小説について(1)			『熊』を原文で読む。					反転学習	
第9回	フォークナーの小説について(2)			『熊』を原文で読む。					反転学習	
第10回	ヘミングウェイの小説について(1)			『武器よさらば』を原文で読む。					反転学習	
第11回	ヘミングウェイの小説について(2)			『老人と海』を原文で読む。					反転学習	
第12回	フィッツジェラルドの小説について			『グレート・ギャツビー』を原文で読む。					反転学習	
第13回	T. ウィリアムズの作品について			『欲望という名の電車』を原文で読む。					反転学習	
第14回	アメリカの現代詩について			W. C. ウィリアムズ等の現代詩を原文で読む。					反転学習	
第15回	まとめ			授業の総括						
評価 方法 及び 評価 基準	2/3以上の出席者につき、レポート(60%)及び平常点評価(40%)。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題 等	課題は次時間に返却する。									
事前 事後 学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材 教科書 参考書	『アメリカ文学史』(成美堂)(ISBN4-7919-3400-8) 参考書として『アメリカ名詩選』(岩波文庫)(ISBN4-00-323351-4)									
留意 点	中辞典を持参し、いつでも参照可能にすること									

科目名	アメリカ文学史B		科目ナンバリング	L-ESL11-05. UE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目コード	E52057		30時間				
区分	専門教育科目	選択	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	講義	単独	
	教員免許	必修								
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 アメリカ文学の主要な作品を原文で読みながら、作品の背後にあるアメリカ文化について学んでいく。アンダソンからフランクリンあたりまでを扱う。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	2年次以降の専門科目の学習に必要なアメリカの文学、文化の基礎知識を理解し説明できるようになる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	アンダソンの小説について			「森の中の死」を原文で読む。				反転学習		
第2回	ドライサーの小説について			『アメリカの悲劇』を原文で読む。				反転学習		
第3回	ロンドンの小説について			『野生の呼び声』を原文で読む。				反転学習		
第4回	ピアスの作品について			『悪魔の事典』を原文で読む。				反転学習		
第5回	ジェイズの小説について			『デージー・ミラー』を原文で読む。				反転学習		
第6回	クレメンズの小説について(1)			『ハックルベリー・フィンの冒険』を原文で読む。				反転学習		
第7回	クレメンズの小説について(2)			『ハックルベリー・フィンの冒険』を原文で読む。				反転学習		
第8回	ホイットマンとディキンソン			二人の詩人の詩を原文で読む。				反転学習		
第9回	メルヴィルの小説について			『白鯨』を原文で読む。				反転学習		
第10回	ホーソーンの小説について			『緋文字』を原文で読む。				反転学習		
第11回	エマソンの作品について			『自然論』を原文で読む。				反転学習		
第12回	ソローの作品について			『森の生活』を原文で読む。				反転学習		
第13回	ポーの小説について			「アッシャー家の崩壊」を原文で読む。				反転学習		
第14回	フランクリンの自伝について			『自叙伝』を原文で読む。				反転学習		
第15回	まとめ			授業の総括						
評価方法及び評価基準	2/3以上の出席者につき、レポート（60%）及び平常点評価（40%）。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題等	課題は次時間に返却する。									
事前事後学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材教科書参考書	『アメリカ文学史』（成美堂）（ISBN4-7919-3400-8） 参考書として『アメリカ名詩選』（岩波文庫）（ISBN4-00-323351-4）									
留意点	中辞典を持参し、いつでも参照可能にすること									

科目名	Shakespeare in Performance		科目ナンバリング	L-ESL12-22. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E53026		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 Shakespeareはイギリスを代表する詩人・劇作家です。この授業では、Shakespeareが活躍した時代背景を踏まえながら、<i>Romeo and Juliet</i>及び<i>Macbeth</i>の映像作品を鑑賞します。その後、この2作品におけるモチーフを考えながらいくつかのシーンを考察し、さらには実際に演じてみることを目指します。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	Shakespeareの作品を通して、イギリス文化の一考察を行う。シェイクスピアの作品を観たり、実際に演じてみることで、英語のリズムや英語での感情表現を学ぶ。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction			授業の進め方の説明				ガイダンス		
第2回	Shakespeareの時代・演劇			シェイクスピアの時代・演劇についての文化的考察と現代との比較				解説		
第3回	<i>Romeo and Juliet</i> 鑑賞 1			<i>Romeo and Juliet</i> を観る				鑑賞		
第4回	<i>Romeo and Juliet</i> 鑑賞 2			<i>Romeo and Juliet</i> を観る				鑑賞		
第5回	<i>Macbeth</i> 鑑賞 1			<i>Macbeth</i> を観る				鑑賞		
第6回	<i>Macbeth</i> 鑑賞 2			<i>Macbeth</i> を観る				解説と読解		
第7回	Shakespeareの演劇の特徴			英語のリズムや英語表現についての解説				オンデマンド授業		
第8回	<i>Romeo and Juliet</i> , <i>Macbeth</i> のモチーフやイメージ 1			モチーフやイメージに注目しながら場面分析を行う				解説と読解		
第9回	<i>Romeo and Juliet</i> , <i>Macbeth</i> のモチーフやイメージ 2			モチーフやイメージに注目しながら場面分析を行う				解説と読解		
第10回	<i>Romeo and Juliet</i> , <i>Macbeth</i> のモチーフやイメージ 3			モチーフやイメージに注目しながら場面分析を行う				解説と読解		
第11回	<i>Romeo and Juliet</i> のパフォーマンス			分析したシーンの演技				パフォーマンス		
第12回	<i>Romeo and Juliet</i> のパフォーマンス			分析したシーンの演技				パフォーマンス		
第13回	<i>Romeo and Juliet</i> のパフォーマンス			分析したシーンの演技				パフォーマンス		
第14回	<i>Romeo and Juliet</i> のパフォーマンス			分析したシーンの演技				パフォーマンス		
第15回	<i>Romeo and Juliet</i> のパフォーマンス			分析したシーンの演技				パフォーマンス		
評価方法及び評価基準	パフォーマンス50%、参加態度30%、オンデマンド時の課題20% Shakespeareの作品をいろいろな角度から見ることで、イギリスの文化について多角的な見方ができるようになっているかをはかる。実際に演じることで、英語の発音や表現の力がついているかをはかる。									
課題等	場面のテキストの読み込み、暗記、感情を込めた演技が求められ、演技の成果は記録する予定です。最後に成果を視聴することで、みんなで振り返ります。									
事前事後学修	テキストの読み込み、暗記などで週あたりの学習時間約3時間									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課します。第7回目はオンデマンド授業を行います。受講者は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 (※「授業動画を視聴し」の箇所は、必要に応じ「授業音声を取録し」に変更)									

科目名	Comparative Literature		科目ナンバリング	L-ESL12-23. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E53027		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>[授業の主旨] アメリカの2つの短編小説(カポーティの「誕生日の子供たち」とマッカーズの「悲しき酒場の唄」)を読み比較しながら、構造上の共通点を理解する。 [ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項] ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達 目標	3年次以降の専門科目の学習に必要なアメリカの文学、文化の基礎知識を理解し説明できるようになる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	オリエンテーション			発表割り当て						
第2回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第3回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第4回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第5回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第6回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第7回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第8回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第9回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第10回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第11回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第12回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第13回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第14回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
第15回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読及び2作品の比較検討				ディスカッション		
評価 方法 及び 評価 基準	2/3以上の出席者につき、レポート（60%）及び平常点評価（40%）。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題 等	課題は次時間に返却する。									
事前 事後 学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材 教科書 参考書	Carson McCullers, The Ballad of the Sad Café(南雲堂) (978-4-523-03615-9)									
留意 点	中辞典を持参し、いつでも参照可能にすること									

科目名	Interpretation/ Translation		科目ナンバリング	L-ESLI2-24. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E53028		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】 In this course, students will learn about and practice basic techniques for spoken interpretation and written translation from English to Japanese and from Japanese to English. 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達 目標	The first half of the course will review basic techniques for spoken interpretation. Students will practice interpreting from English to Japanese and Japanese to English. The second half of the course will review written translation. Students will learn the basic techniques and practice translating English texts into Japanese and Japanese texts into English.									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Course Orientation			Instructor explains course objectives; review of differences between interpretation and translation and different styles.				Write & Memorize Self-Intro		
第2回	Basic Interpretation Skills			Students will learn and practice basic interpretation skills using pair work.				Prepare Talk about Hometown		
第3回	Basic Interpretation Practice			Students will learn and practice basic interpretation of common topics in pairs and groups.				Practice Interpreting		
第4回	Consecutive Interpretation			Students will learn and practice consecutive interpretation of common conversation topics in pairs and groups.				Self-Reflection		
第5回	Consecutive Interpretation Practice			Students will learn and practice consecutive interpretation of common conversation topics in pairs and groups.				Practice Interpreting		
第6回	Consecutive Interpretation Practice			Students will practice more complex consecutive interpretation skills in pairs and groups.				Self-Reflection		
第7回	Interpretation Pitfalls to Avoid			Students will learn about pitfalls to avoid when doing interpretation and have discussions about common challenges.				Prepare for Examination		
第8回	Interpretation Examination			Students will perform a spoken interpretation examination (E to J & J to E) with the professor about given topics.				Oral Examination		
第9回	Basic Translation Skills			Students will learn and practice basic translation skills. Technology tools to support translation will be explained.				Practice using technology tools		
第10回	Translating English to Japanese			Students will discuss and practice translating from English to Japanese with partners and in small groups.				Practice Translations		
第11回	Translating English to Japanese			Students will discuss and practice translating from English to Japanese with partners and in small groups.				Practice Translations		
第12回	Translating Japanese to English			Students will discuss and practice translating from Japanese to English with partners and in small groups.				Practice Translations		
第13回	Translating Japanese to English			Students will discuss and practice translating from Japanese to English with partners and in small groups.				Practice Translations		
第14回	Working as a translator; Translation Pitfalls to Avoid			Students will learn about working as a translator; then discuss pitfalls to avoid in interpretation and translating.				Prepare for Examination		
第15回	Translation Examination			Students will take a written translation examination.				Written examination		
評価 方法 及び 評価 基準	Homework and classroom participation: 30%; Interpretation Exam (content & language accuracy graded using a rubric): 30%; Translation Exam (content & language accuracy graded using a rubric): 40%.									
課題 等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前 事後 学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 90 mins. per day.									
教材 教科書 参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone and computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams.									
留意 点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible.									

科目名	Cultural Studies A		科目ナンバリング	L-ESLI2-25. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E53029		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	神戸 直樹			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>Introduction to Cultural Studies: This course explores key concepts and theories in cultural studies to connect them to matters of cultural politics and power. In particular, we will focus on language and how it is used to represent the world we live in. Specific concepts/theories covered will include semiotics, discourse, power/knowledge, speech act theory, performativity, queer theory, Whiteness, Orientalism, and imagined communities. Using these theoretical/methodological perspectives, we will critically examine media representations of gender, sexuality, race, and nation.</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達 目標	<p>1. Students will explore the relationship between language, culture, and the media. 2. Students will engage in critical discourse on the concepts and theories in cultural studies 3. Students will develop the ability to critically analyze various media representations.</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	Introduction		Introductory Activities							
第2回	Introducing Cultural Studies		Lecture & Discussion: A Brief History of Cultural Studies							
第3回	Representation		Lecture & Discussion: Two Systems of Representation							
第4回	Semiotics		Quiz #1, Lecture & Discussion: Semiotics and Meaning							
第5回	Media Case Studies 1) Presentation		Preparing your presentation							
第6回	Discourse and Power/Knowledge		Lecture & Discussion: Language, Discourse, and Power/Knowledge							
第7回	Speech Act Theory		Lecture & Discussion: Constative and Performative Language							
第8回	Language, Sexuality, and Gender		Quiz #2, Lecture & Discussion: Introduction to Gender and Sexuality Studies							
第9回	Media Case Studies 2) Presentation		Preparing your presentation							
第10回	Psychoanalysis		Lecture & Discussion: Introduction to Psychoanalysis□							
第11回	Queer Theory		Lecture & Discussion: Introduction to Queer Theory							
第12回	Race and Culture		Lecture & Discussion: Whiteness and the Other							
第13回	Nation and Culture		Quiz #3, Lecture & Discussion: Orientalism and Imagined Communities							
第14回	Media Case Studies 3) Presentation		Preparing your presentation							
第15回	Review		Final Report Due							
評価 方法 及び 評価 基準	<p>Active participation (20%) Reading Responses (20%) Quizzes (20%) Presentation (10%) Final Paper (30%)</p>									
課題 等	See above									
事前 事後 学修	180 minutes/week									
教材 教科書 参考書	<p>No assigned textbook for the course. Reading assignments will be provided by the instructor.</p> <p>References: ターナー、グレアム(1999)『カルチュラルスタディーズ入門：理論と英国での発展』（溝上由紀他訳）作品社（4-87893-313-5） Walton, D. (2012). <i>Doing cultural theory</i>. Sage. Storey, J. (2018). <i>Cultural theory and popular culture: An introduction</i> (8th ed.). Sage.</p>									
留意 点	Preparation and active class participation are critical for succeeding in this course.									

科目名	Cultural Studies B		科目ナンバリング	L-ESL12-26. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E53030		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 芸術作品は現実を映し出し、表現することにおいて様々な模索を行なってきました。この授業では、時代の経過と共に変化する社会的、歴史的、倫理的な背景を顧慮しながら、現実との関わり方を、いくつかの文学作品や絵画作品、及び映画作品において見ていきます。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	現実と芸術作品の様々な関係に対する深い理解を持つことを目指します。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction			授業の流れ、内容の説明、次週の授業の予習				ガイダンス		
第2回	ミメシスという概念			芸樹において重要な要素であるミメシスという概念について学びます。復習・予習について指示する。				解説・演習		
第3回	ミメシスという概念と反芸術主義			プラトンの芸術論について学びます。復習・予習を指示する。				解説・演習		
第4回	ミメシスとフィクション 1			現実の模倣の観点から、様々なフィクションを考えます。復習・予習を指示する。				解説・演習		
第5回	ミメシスとフィクション 2			現実の模倣の観点から、様々なフィクションを考えます。復習・予習を指示する。				解説・演習		
第6回	ミメシスとフィクション 3			現実の模倣の観点から、様々なフィクションを考えます。復習・予習を指示する。				解説・演習/ ディスカッション		
第7回	ミメシスとフィクション 4			現実の模倣の観点から、様々なフィクションを考えます。復習・予習を指示する。				解説・演習/ ディスカッション		
第8回	まとめ			これまでの内容に関する復習・課題				オンデマンド授業		
第9回	メタフィクションとポストモダニズム 1			ポストモダニズムの動きを背景としたメタフィクションの芸術形態を考えます。復習・予習を指示する。				解説・演習		
第10回	メタフィクションとポストモダニズム 2			ポストモダニズムの動きを背景としたメタフィクションの芸術形態を考えます。復習・予習を指示する。				解説・演習/ ディスカッション		
第11回	メタフィクションとポストモダニズム 3			John Fowles, <i>The French Lieutenant's Woman</i> の鑑賞				鑑賞		
第12回	メタフィクションとポストモダニズム 4			John Fowles, <i>The French Lieutenant's Woman</i> の鑑賞				鑑賞		
第13回	メタフィクションとポストモダニズム 5			Baz Luhrmann監督映画 <i>William Shakespeare's Romeo + Juliet</i> の鑑賞				鑑賞		
第14回	メタフィクションとポストモダニズム 6			Baz Luhrmann監督映画 <i>William Shakespeare's Romeo + Juliet</i> の鑑賞				鑑賞		
第15回	まとめ			映画について、ポストモダニズム、メタフィクションの観点からの分析を行います。復習・予習を指示する。				解説・演習/ ディスカッション		
評価方法及び評価基準	授業への参加態度30%、課題・レポート70%(一回目35%、二回目35%) 芸術作品の現実との関わり方、フィクションの歴史、メタフィクションの背景、特徴を理解しているかを図ります。									
課題等	毎回の授業で、考察・分析ポイントを示した質問を提示するので、あらかじめ考えて来てもらいたい。 また、2回のレポート提出を課すが、最後にコメントを付して返却する。									
事前事後学修	予習・復習時間、レポート作成などのために週あたりの学習時間3時間以上									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課します。第8回目はオンデマンド授業を行います。受講者は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 (※「授業動画を視聴し」の箇所は、必要に応じ「授業音声を取録し」に変更)									

科目名	Cultural Studies C		科目ナンバリング	L-ESL12-27. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E53031		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	【授業の主旨】 This course explores a variety of world cultures by discussing a different country's culture each week. Students will improve their English while expanding their knowledge of world societies and cultures. 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。									
	到達 目標	This course uses videos and textbook articles to learn the important parts of a variety of world cultures in the major global regions of Central and Southeast Asia, Europe, the Middle East, Africa, and South America. Students will compare Japanese culture with various global cultures to better understand Japanese culture and be able to discuss intercultural differences in English.								
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Course Orientation and teacher introduction			Instructor explains course objectives. Students discuss what they know about world cultures in groups				Group discussions		
第2回	India			Students will learn about Indian culture through videos and discussions of differences between Japanese and Indian culture				Group discussions		
第3回	Philippines			Students will learn about Philippine culture through videos and discussions of differences between Japanese and Philippine culture				Group discussions		
第4回	Thailand			Students will learn about Thai culture through videos and discussions of differences between Japanese and Thai culture				Group discussions		
第5回	Vietnam			Students will learn about Vietnamese culture through videos and discussions of differences between Japanese and Vietnamese culture				Group discussions		
第6回	Asian Country Presentation			Students will do a presentation about an Asian country not discussed in the textbook				Presentations & Written Summary		
第7回	France			Students will learn about French culture through videos and discussions of differences between Japanese and French culture				Group discussions		
第8回	Italy			Students will learn about Italian culture through videos and discussions of differences between Japanese and Italian culture				Group discussions		
第9回	Denmark			Students will learn about Danish culture through videos and discussions of differences between Japanese and Danish culture				Group discussions		
第10回	Portugal			Students will learn about Portuguese culture through videos and discussions of differences between Japanese and Turkish culture				Group discussions		
第11回	European Country Presentation			Students will do a presentation about a European country not discussed in the textbook				Presentations & Written Summary		
第12回	Turkey			Students will learn about Turkish culture through videos and discussions of differences between Japanese and Turkish culture				Group discussions		
第13回	Egypt			Students will learn about Egyptian culture through videos and discussions of differences between Japanese and Egyptian culture				Group discussions		
第14回	South Africa			Students will learn about South African culture through videos and discussions of differences between Japanese and South African culture				Group discussions		
第15回	African / Middle Eastern Country Presentation			Students will do a presentation about an African or Middle Eastern country not discussed in the textbook				Presentations & Written Summary		
評価 方法 及び 評価 基準	Participation / Homework: 25%; Student presentations and written summaries (graded on content, English accuracy, and presentation style graded using a rubric): 75% (3 presentations @ 25% each).									
課題 等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前 事後 学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 90 mins. per day.									
教材 教科書 参考書	<i>World Adventures</i> (ISBN: 978-4-7647-3907-9) by Berlin and Kobayashi.									
留意 点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students missing a Student Project Presentation day may result in a failing grade for the presentation.									

科目名	Cultural Studies D		科目ナンバリング	L-ESL12-28. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E53032		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	神戸 直樹			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	[授業の主旨] Introduction to Visual Culture: This course studies the influence of vision and visual texts play in our culture. As its starting point, it takes the premise that visual artifacts operate differently—or are thought to operate differently—from language or spoken/written texts and attempts to understand the ways in which images structure our daily lives. Coupled with the assistance of insights gleaned from assigned readings, students will regularly examine, discuss, and write critically about a vast array of visual texts. [ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項] ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。									
	到達目標	1. Students will explore the relationship between vision/visual texts and culture. 2. Students will engage in critical discourse on the concepts and theories in visual culture studies. 3. Students will develop the ability to critically analyze various visual texts.								
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction			Introductory Activities						
第2回	Introducing Visual Culture			Lecture & Discussion: An Introduction to Visual Culture, Concepts of Culture						
第3回	On Attention and Vision			Lecture & Discussion: The Concept of “the Visual”						
第4回	On Photography			Quiz #1, Lecture & Discussion: Barthes, Sontag, and Photography						
第5回	Media Case Studies 1) Presentation			Preparing your presentation						
第6回	Bodies and/on Display			Lecture & Discussion: Bodies and Visibility Politics						
第7回	Virtuality and Cyborgs			Lecture & Discussion: Cyberspace, Virtuality, and Cyborgs						
第8回	Psychoanalysis and Passionate Attachments			Quiz #2, Lecture & Discussion: The Gaze and Pleasure						
第9回	Media Case Studies 2) Presentation			Preparing your presentation						
第10回	Visualizing Gender			Lecture & Discussion: Reading the Slender Body						
第11回	Visualizing Race			Lecture & Discussion: Representation of the Other						
第12回	Place/Space			Lecture & Discussion: Spatiality and (In)Visibility						
第13回	Vision and (archival) Memory			Quiz #3, Lecture & Discussion: Commemoration and Vision						
第14回	Media Case Studies 3) Presentation			Preparing your presentation						
第15回	Review			Final Report Due						
評価方法及び評価基準	Active participation (20%) Reading Responses (20%) Quizzes (20%) Presentation (10%) Final Paper (30%)									
課題等	See above									
事前事後学修	180 minutes/week									
教材教科書参考書	No assigned textbook for the course. Reading assignments will be provided by the instructor. References: Sturken, M., Cartwright, L. (2009). <i>Practice of looking: An introduction to visual culture</i> (2nd ed.). Oxford University Press. (9780195314403) ウォーカー、ジョン・A・チャップリン、サラ、2001、『ヴィジュアル・カルチャー入門 美術史を超えるための方法論』（岸文和他訳）、晃洋書房。（9784771012547） バージャー、ジョン、1986、『イメージ—Ways of Seeing 視覚とメディア』（伊藤俊治訳）、PARCO出版。（4-89194-124-3） バルト、ロラン、2005、『映像の修辞学』（蓮實重彦・杉本紀子訳）、ちくま学術文庫。（9784480089366）									
留意点	Preparation and active class participation are critical for succeeding in this course.									

科目名	Cultural Studies E		科目ナンバリング	L-ESL12-29. SN	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E53033		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	鎌田 学			授業 形態	講義	単独	
	日本語教員	選択必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 人気の高いディズニーの映画を題材に、現代社会の諸問題 (<i>race, ethnicity, gender, sexuality</i> etc.) を考える。特に、現代アメリカ社会、ディズニー作品に興味のある人に向けている。教科書以外の多様なアプローチを参加者から提案してもらう。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの8に関連し、カリキュラムポリシーの8に関連している。</p>									
到達目標	中級程度の英文を正確に読解できるようになること、また映画を見る力を高めること。									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備 考		
第1回	<i>Disney Films</i> を<読む>			授業の進め方						
第2回	<i>Progressive Era Protagonists</i>			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第3回	<i>Honor Through Heterosexuality</i>			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第4回	<i>Reflecting on the Self</i>			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第5回	<i>Making a Man</i>			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第6回	<i>Performing Meerkat and Warthog</i>			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第7回	"Hakuna Matata"			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第8回	"Hakuna Matata"②			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第9回	"Carnivores!Oy!"			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第10回	<i>Mean Ladies</i>			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第11回	<i>Mean Ladies</i> ②			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第12回	<i>Mean Ladies</i> ③			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第13回	<i>Mean Ladies</i> ④			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第14回	<i>Mean Ladies</i> ⑤			講読、問題提起				プレゼンテーション &ディスカッション		
第15回	まとめ			全体のまとめ						
評価方法及び評価基準	授業への参加度 (50%)、小テスト (英文和訳) および期末テスト (50%)。テストはともに文法理解、日本語表現の適切さの観点から採点される。									
課題等	小テストは実施翌週に返却。									
事前事後学修	授業の前に該当範囲を必ず一読しておくこと。3時間程度必要。									
教材教科書参考書	<i>Disney Films and Secret Messages</i> (Johnson Cheu編、英宝社2000円、ISBN978-4-269-11008-3)									
留意点	英語は中級レベル。アニメーション映画の日米比較論に興味を持つ方はぜひ参加されたい。									

科目名	欧米文学・文化演習 I A		科目ナンバリング	L-ESLI3-40. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	E53034		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	神戸 直樹			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>Seminar in Gender Studies: Seminar/Enshu is a small, discussion-based course in which students complete assigned readings and discuss them in class. In this seminar, we will explore key concepts/theories in gender studies in the Western context. Through/Using a variety of theoretical perspectives, we will critically examine representations of gender in the Western media (e.g., magazine, television, film, music video, social media). Specific topics/concepts/theories covered will include feminisms, femininity, masculinities, objectification, sexualization, infantilization, docile bodies, trans*, and gender performativity.</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達目標	<p>1) Students will become familiar with common themes regarding the representation of gender in Western culture.</p> <p>2) Students will develop an understanding of how cultural norms related to gender are constructed, maintained, and challenged through various media and one's communication with them.</p> <p>3) Students will develop the ability to critically analyze and discuss key issues in gender studies.</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction			Introductory Activities						
第2回	LGBTQ+ and Key Vocabulary in Gender Studies			Discussion: LGBTQ+ and Gender						
第3回	Femininity and Representing Women			Discussion: Representation of Women						
第4回	Objectification and Sexualization			Quiz #1; Discussion: How and Why Are Women Objectified?						
第5回	Docile Bodies and Panopticon			Discussion: What Are Docile Bodies?						
第6回	Media Case Studies 1) Presentation			Preparing your presentation						
第7回	Masculinities and Representing Men			Discussion: Representation of Men						
第8回	Hegemonic and Subordinate Masculinities			Quiz #2, Discussion: Plural Masculinities						
第9回	Male Bodies and Beauty Work			Discussion: Representation of Male Bodies						
第10回	Media Case Studies 2) Presentation			Preparing your presentation						
第11回	Trans* and Transgender			Discussion: Introduction to Transgender Studies						
第12回	Female Masculinity & Male Femininity			Discussion: Diverse Masculinities and Femininities						
第13回	Lady Gaga, Alicia Keys, Billie Eilish and Feminisms			Quiz #3; Discussion: Celebrity Feminism						
第14回	Media Case Studies 3) Presentation			Preparing your presentation						
第15回	Review			Final Paper Due						
評価方法及び評価基準	<p>Active participation (20%) Reading Responses (20%) Quizzes (20%) Presentation (10%) Final Paper (30%)</p>									
課題等	See above									
事前事後学修	180 minutes/week									
教材教科書参考書	<p>No assigned textbook for the course. Reading assignments will be provided by the instructor.</p> <p>References: 千田有紀・中西祐子・青山薫、2013、『ジェンダー論をつかむ』、有斐閣。(9784641177161) 治部れんげ、2021、『ジェンダーで見るヒットドラマ 韓国、アメリカ、欧州、日本』、光文社新書。(9784334045456) Milestone, K., & Meyer, A. (2020). <i>Gender and popular culture (2nd ed.)</i>. Polity (9780745698304) Richardson, N., & Wearing, S. (2014). <i>Gender in the media</i>. Palgrave (9780230220430)</p>									
留意点	Preparation and active class participation are critical for succeeding in this course.									

科目名	欧米文学・文化演習 I B		科目ナンバリング	L-ESLI3-41. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	E53035		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	神戸 直樹			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 Seminar in Sexuality Studies: Seminar/Enshu is a small, discussion-based course in which students complete assigned readings and discuss them in class. In this seminar, we will explore key concepts/theories in sexuality studies in the Western context. Through/Using a variety of theoretical perspectives, we will critically examine representations of sexuality in the Western media (e.g., magazine, television, film, music video, social media). Specific topics/concepts/theories covered will include homosexuality, heterosexuality, bisexuality, asexuality, sex work, sexual harassment, sexting, and queer theory. 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達目標	<p>1) Students will become familiar with common themes regarding the representation of sexuality in Western culture. 2) Students will develop an understanding of how cultural norms related to sexuality are constructed, maintained, and challenged through various media and one's communication with them. 3) Students will develop the ability to critically analyze and discuss key issues in sexuality studies.</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	Introduction			Introductory Activities						
第2回	LGBTQ+ and Key Vocabulary in Sexuality Studies			Discussion: LGBTQ+ and Sexualities						
第3回	Homosexuality			Discussion: Representation of Homosexuality						
第4回	Heterosexuality			Quiz #1, Discussion: Representation of Heterosexuality						
第5回	Bisexuality and Asexuality			Discussion: Representation of Bisexuality and Asexuality						
第6回	Media Case Studies 1) Presentation			Preparing your presentation						
第7回	Sexting and Virtuality			Discussion: Sexting and Young People						
第8回	Sex and Labor			Quiz #2, Discussion: Positive and Negative Images of Sex Workers						
第9回	Sexual Harassment and Violence			Discussion: Types of Sexual Harassment and Violence						
第10回	Media Case Studies 2) Presentation			Preparing your presentation						
第11回	Queer Theory			Discussion: Queer Theory as a Theory, Method, and Practice						
第12回	Sex and Regulation			Discussion: How and Why Has Sex Been Regulated?						
第13回	Global and Transnational Sexualities			Quiz #3, Discussion: Some Characteristics of Global/Transnational Sexualities						
第14回	Media Case Studies 3) Presentation			Preparing your presentation						
第15回	Review			Final Paper Due						
評価方法及び評価基準	Active participation (20%) Reading Responses (20%) Quizzes (20%) Presentation (10%) Final Paper (30%)									
課題等	See above									
事前事後学修	180 minutes/week									
教材教科書参考書	<p>No assigned textbook for the course. Reading assignments will be provided by the instructor. References: 風間孝・河口和也・守如子・赤枝香奈子、2018、『教養のためのセクシュアリティ・スタディーズ』、法律文化社。(9784589039705) Atwood, F. (2018). <i>Sex media. Polity</i> (9781509516872) Richardson, N., Smith, C., & Werndly, A. (2013). <i>Studying sexualities: Theories, representations, cultures</i>. Palgrave (9780230220430)</p>									
留意点	Preparation and active class participation are critical for succeeding in this course.									

科目名	欧米文学・文化演習 I C		科目ナンバリング	L-ESL13-42. SE	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	E53036		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	演習	単独	
	教員免許	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 Students will explore western cultural ideas and differences through research, discussion, and presentation. The goal is to deepen students' understanding of western culture and to help them find research topics for their Senior-year graduation thesis. 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達目標	This course gives students the chance to research and explore a wide variety of topics related to cultural comparisons between western and Japanese cultures. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions about cultural topics.									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction and Orientation			Instructor explains course objectives. Students discuss ideas of culture and traditions in the West.				Group discussions		
第2回	Research methods discussion			Students will learn current research methods and understand how to find information needed for the presentations.				Group discussions		
第3回	Comparing cultures in movies			Students will explore how culture is presented in Western / Japanese movies and discuss different perspectives.				Group work about movie cultures		
第4回	Discussing cultures in movies			Students will discuss how culture is presented in Western / Japanese movies and discuss different perspectives.				Paper on movie impressions		
第5回	Spring & Summer Holidays			Students will explore Western spring and summer holidays and how they compare with Japan's.				Group discussions		
第6回	Student presentations about Western Summer / Spring Holidays			Students share information about a Western spring / summer holiday of their choice.				Student Presentation		
第7回	Wedding customs - June brides			Students will learn about Western wedding customs and compare them with their knowledge of Japanese traditions.				Presentation Summary Due		
第8回	Student poster presentations about Western Weddings			Students will create a poster and share information about Western weddings in a country / culture of their choice.				Student Presentation		
第9回	Summer strut - music culture			Students will discuss in groups what they know about world music genres and learn about Western music culture and the roots of music styles.				Presentation Summary Due		
第10回	World music genres			Students will discuss in groups what they know about world music genres and learn about Western music culture and the roots of music styles.				Group discussions		
第11回	Student presentations about Western Music			Student groups share information about a Western minority of their choice. Final Research paper will be explained.				Student Presentation		
第12回	American Summertime activities			Students will discuss Japanese summer activities in groups and learn about summertime activities in America.				Presentation Summary Due		
第13回	Western Summertime activities			Students will continue to discuss western summer activities in groups.				Group discussions		
第14回	American BBQ Culture			Students will have an American-style BBQ party after cooking typical American BBQ foods and doing common BBQ activities.				Experiential learning		
第15回	English Camp Participation			Students must participate in HiroGaku's English Camp for their final class.				Research Paper due by end of semester		
評価方法及び評価基準	Student presentations (graded on content, English accuracy, and presentation style using a rubric): (3 X 15 pts: 45pts) 45%; Research paper (7 pages long about a topic of Western Culture; it will be graded on content and English accuracy using a scoring rubric): 35%; Homework, classroom, and English Department cultural event participation: 20%									
課題等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前事後学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 90 mins. / day.									
教材教科書参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone or notebook computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams. Students may participate in an intercultural collaboration, so a smartphone and computer are required.									
留意点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible.									

科目名	欧米文学・文化演習 I D		科目ナンバリング	L-ESL13-43. SE	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	E53037		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	演習	単独	
	教員免許	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 Students will explore western cultural ideas and differences through research, discussion, and presentation. The goal is to deepen students' understanding of western culture and to help them find research topics for their Senior-year graduation thesis. 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達目標	This course gives students the chance to research and explore a wide variety of topics related to cultural comparisons between western and Japanese cultures. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions about cultural topics.									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	Introduction and Orientation			Instructor explains course objectives. Students discuss information learned in spring semester in groups.					Group discussions	
第2回	Summer strut - music culture			Students will discuss what they know about music and learn about Western music culture and the roots of music styles.					Group discussions	
第3回	Harvest festivals			Students will discuss Japanese autumn events and learn about American harvest festivals and Halloween activities in groups.					Group discussions	
第4回	Harvest festivals & Halloween			Students will continue to discuss western autumn events and learn about American harvest festivals and Halloween activities in groups.					Group discussions	
第5回	Student presentations about Western Harvest Festivals			Student groups share information about a Western Harvest Festival of their choice.					Presentation	
第6回	World Religions			Students will learn about religions around the world and discuss religious histories and cultural differences.					Presentation Summary Due	
第7回	World Religions			Students will learn about religions around the world and discuss religious histories and cultural differences.					Group discussions	
第8回	World Religions			Students will learn about religions around the world and discuss religious histories and cultural differences.					Group discussions	
第9回	Poster presentation preparation			Students will research a western religion and prepare a poster to use in a poster presentation.					Group discussions	
第10回	Student poster presentations about World Religions			Students share information about a World Religion creating a poster to be posted for public viewing.					Poster Presentation	
第11回	Western cooking experience			Students will experience cooking traditional Western meal appropriate to the season. Final Research paper explained.					Experiential learning	
第12回	Western year-end holiday celebrations			Students will learn about Western end-of-year holiday celebrations and discuss differences in groups.					Presentation Summary Due	
第13回	Western winter sports culture			Students will discuss Japanese sports culture in groups and learn about Western winter sports cultures.					Group discussions	
第14回	World Cultural Personal Experiences			Students will learn about the professor's experiences in other cultures around the world.					Group discussions	
第15回	Senior Graduation Research Poster Presentation Attendance			Students must participate in HiroGaku's Senior graduation research poster presentation event for their final class.					Research Paper due by end of semester	
評価方法及び評価基準	Student presentations (content, English accuracy, and presentation style graded using a rubric): (2 X 20 pts: 40pts) 40%; Research paper (10 pages long about a topic of Western Culture: it will be graded on content and English accuracy using a scoring rubric): 40%; Homework, classroom, and English Department cultural event participation: 20%									
課題等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前事後学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 90 mins. per day.									
教材教科書参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone or notebook computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams. Students may participate in an intercultural collaboration, so a smartphone and computer are required.									
留意点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible.									

科目名	欧米文学・文化演習 I E		科目ナンバリング	L-ESLI3-44. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	E53038		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 イギリス文化またはイギリス文学の分野において興味を湧かす事柄を見つけるヒントとして、関連する文学作品や映画の両方に触れ、キーとなるテーマの見つけ方を指導します。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達目標	映画とテキスト両方からイギリス文化の諸相（歴史・階級・ジェンダー等）へのアプローチを行い、自分のテーマを見つける。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction			授業の進め方の説明				ガイダンス		
第2回	Harry Potter の映画鑑賞 1			Harry Potterの映画を観る				鑑賞		
第3回	Harry Potter の映画鑑賞 2			Harry Potterの映画を観る				鑑賞		
第4回	Harry Potter の映画鑑賞 3			Harry Potterの映画を観る、次週の授業における読解のための予習				鑑賞		
第5回	Harry Potterのテキストの読解 1			テキストの読解、イギリスの情景や社会背景の考察、次週の授業における読解のための予習				読解と解説		
第6回	Harry Potterのテキストの読解 2			テキストの読解、ファンタジーについての考察、次週の授業における読解のための予習				読解と解説		
第7回	Harry Potterのテキストの読解 3			テキストの読解、魔術・魔法についての考察、次週の授業における読解のための予習				読解と解説		
第8回	Harry Potterのテキストの読解 4			テキストの読解、階級についての考察、次週の授業における読解のための予習				読解と解説		
第9回	Harry Potter まとめ			これまでの内容をキーワードで振り返る				オンデマンド授業		
第10回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第11回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第12回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第13回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第14回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第15回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
評価方法及び評価基準	授業への参加態度10%、発表30%、課題・レポート60% (30%×2) イギリス文学や映画の鑑賞を通して、自分の関心事を見つけ、その事柄に関して自分の意見を展開できる力を身につけること。									
課題等	第1回目のレポートは、オンデマンド授業時に指示する。 第2回目のレポートは発表時のフィードバックを踏まえて作成してもらう。									
事前事後学修	テキスト読解のための予習、レポート作成のための復習、レポート作成のための構成準備、週あたりの学習時間目安：約3時間									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課します。第9回目はオンデマンド授業を行います。受講者は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 (※「授業動画を視聴し」の箇所は、必要に応じ「授業音声を聴取し」に変更)									

科目名	欧米文学・文化演習 I F		科目ナンバリング	L-ESL13-45. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	E53039		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 イギリス文化またはイギリス文学の分野において興味を湧かす事柄を見つけるヒントとして、関連する文学作品や映画の両方に触れ、キーとなるテーマの見つけ方を指導します。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達目標	映画とテキスト両方からイギリス文化の諸相（歴史・階級・ジェンダー等）へのアプローチを行い、自分のテーマを見つける。									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備考		
第1回	Introduction			授業の進め方の説明				ガイダンス		
第2回	『リトル・ダンサー』の映画鑑賞 1			映画鑑賞				鑑賞		
第3回	『リトル・ダンサー』の映画鑑賞 2			映画鑑賞				鑑賞		
第4回	テキストの読解 1			作品を通して見るイギリスの歴史・社会の考察 1				読解と解説		
第5回	テキストの読解 2			作品を通して見るイギリスの歴史・社会の考察 2				読解と解説		
第6回	『恋に落ちたシェイクスピア』の映画鑑賞 1			映画鑑賞				鑑賞		
第7回	『恋に落ちたシェイクスピア』の映画鑑賞 2			映画鑑賞				鑑賞		
第8回	テキストの読解			作品を通して見るイギリスの歴史・社会の考察 1				読解と解説		
第9回	まとめ			これまでの学びをキーワードで振り返る				オンデマンド授業		
第10回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第11回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第12回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第13回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第14回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第15回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
評価方法及び評価基準	<p>授業への参加態度10%、発表30%、課題・レポート60% (30%×2) イギリス文学や映画の鑑賞を通して、自分の関心事を見つけ、その事柄に関して自分の意見を展開できる力を身につけること。</p>									
課題等	<p>第1回目のレポートは、オンデマンド授業時に指示する。 第2回目のレポートは発表時のフィードバックを踏まえて作成してもらう。</p>									
事前事後学修	<p>テキスト読解のための予習、レポート作成のための復習、レポート作成のための構成準備、 週あたりの学習時間目安：約3時間</p>									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	<p>teamsを併用して課題を課します。第9回目はオンデマンド授業を行います。受講者は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 (※「授業動画を視聴し」の箇所は、必要に応じ「授業音声を聴取し」に変更)</p>									

科目名	欧米文学・文化演習ⅡC		科目ナンバリング	L-ESLI4-62.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	前期
			科目コード	E53042		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	【授業の主旨】 This seminar will provide students opportunities to explore western cultural ideas and differences in-depth through research, discussion, and presentation. The goal is to help students understand research methods and prepare to write their graduation thesis. 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。									
	到達目標	This course gives students the chance to deeply research and fully explore a chosen topic related to cultural comparisons between western and Japanese cultures. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions about cultural topics.								
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	Introduction and Orientation		Instructor explains course objectives and approaches to research and thesis writing.					Group discussions		
第2回	Review of research methods		Students will refresh their understanding of research methods through group discussions.					Group discussions		
第3回	Discussion of graduation research topics		Students will brainstorm their graduation research topics as a class to refine the topic of their graduation thesis and create a thesis outline.					Brainstorming Sheet		
第4回	Student research topic presentations		Students will present their graduation research topic to the class including the chapter topics they will explore.					Thesis outline due		
第5回	Student research plan presentations		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research plan presentation		
第6回	Finding appropriate resources		Students will discuss how to find quality resources to support their research papers.					Research Plan Update		
第7回	Student research presentations 1		Students will present an update to their research topic. Professor will provide format for resource list.					Research Plan Update		
第8回	Student research presentations 2		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Resource List due		
第9回	Student research presentations 3		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Notetaking Update		
第10回	Student research presentations 4		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Notetaking Update		
第11回	Research paper introduction writing		Students will learn what is required for the introduction of their research thesis, to include thesis statement writing.					Notetaking Update		
第12回	Student research presentations 5		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Thesis Statement Worksheet due		
第13回	Research paper chapter styles		Students will learn how to format the chapters in their research thesis.					Thesis Introduction due		
第14回	Graduation research status update		Students will present their research methods to include their ideas for chapter topics.					Research method Presentation		
第15回	Feedback and conclusions		Students will review their research progress thus far and make plans for future research.					Thesis Chapter 1 draft due		
評価方法及び評価基準	Presentations and Research paper draft (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric): 40%; Milestone documents (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric where appropriate): 30%, Homework, classroom, and English Department cultural event participation: 30%									
課題等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前事後学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 90 mins. / day.									
教材教科書参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone and computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams.									
留意点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible, especially for job-hunting and teaching practice absences.									

科目名	欧米文学・文化演習ⅡD		科目ナンバリング	L-ESLI4-63.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	後期
			科目コード	E53043		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】 This seminar will provide students opportunities to explore western cultural ideas and differences in-depth through research, discussion, and presentation. The goal is to help students understand research methods and prepare to write their graduation thesis. 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達 目標	This course gives students the chance to deeply research and fully explore a chosen topic related to cultural comparisons between western and Japanese cultures. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions about cultural topics.									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	Introduction and Orientation		Instructor explains course objectives and reviews approaches to research and thesis writing discussed in spring semester.					First Draft of Research Paper		
第2回	Student research topic presentations		Students will present an update of their graduation research to the class including the chapters they are exploring.					Research Progress Presentation		
第3回	Student research presentations 1		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research Status Update		
第4回	Creating charts / tables		Students will review how to make charts and tables in their thesis					Group discussions		
第5回	Student research presentations 2		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research Status Update		
第6回	Research paper conclusion writing		Students will learn how to write a conclusion to the research paper to be included in the second draft of their paper.					Research Status Update		
第7回	Student research presentations 3		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research Status Update		
第8回	Student research presentations 4		Students will present their second draft of their paper and explain their plans for continued research with the class.					Revised Draft of Research Paper		
第9回	Student research presentations 5		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research Status Update		
第10回	Research paper Works Cited list		Students will review how to draft a properly formatted Works Cited list and practice in-text citations.					Research Status Update		
第11回	Student research presentations 6		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research Status Update		
第12回	Research paper submission		Students will submit their final research paper.					Research Paper		
第13回	Oral interview explanation and practice		Students will learn how to do an oral interview and practice presenting their research paper.					Research Paper Summary due		
第14回	Academic Poster Creation		Students will learn about & create a poster about their graduation research for the English Dept. Poster Pres.					Group discussions		
第15回	Poster Presentation		Students must attend the Graduation Research Poster Presentation event and give their poster presentation					Poster Presentation		
評価 方法 及び 評価 基準	Presentations and Research paper (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric): 50%; Research poster presentation (will be graded on information and English language accuracy according to a rubric) and participation in the English Department Graduation Thesis poster presentation session: 20%; Homework, classroom participation: 20%; Research summary (graded on content and English language accuracy according to rubric): 10%.									
課題 等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前 事後 学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 90 mins. per day.									
教材 教科書 参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone and a computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams.									
留意 点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible, especially for job-hunting and teaching practice absences.									

科目名	欧米文学・文化演習Ⅱ E		科目ナンバリング	L-ESLI4-64. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	前期
			科目コード	E53044		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 イギリス文化またはイギリス文学の分野において、興味を唆られるトピックとその関連資料を見つけ、徹底的に分析・考察し、発表をしてもらいます。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達目標	イギリス文化またはイギリス文学の分野において、興味を唆られるトピックとその関連資料を見つけ、徹底的に分析・考察し、発表をもらいます。									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備考		
第1回	Introduction			授業の進め方の説明				ガイダンス		
第2回	トピックの絞り方1			トピックを絞る作業を行う				解説		
第3回	トピックの絞り方2			トピックを絞る作業を行い、トピックセンテンスを考える				解説と実践		
第4回	参考資料の見つけ方			関連の資料を探す				解説と実践		
第5回	参考の利用の仕方			資料を賛否両サイドから読む姿勢を学ぶ				解説		
第6回	まとめ			これまでのリサーチに関する学びの復習				オンデマンド授業		
第7回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第8回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第9回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第10回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第11回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第12回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第13回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第14回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第15回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
評価方法及び評価基準	問題点をはっきり見つけ、ポイントが絞れた発表ができるかをはかる。発表60%、レポート40%									
課題等	各自の発表の際にフィードバックを行うので、それをふまえてレポートを作成すること。レポートは後日返却する。									
事前事後学修	発表の授業、レポートの作成などで週あたりの学習時間3時間以上									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課します。第6回目はオンデマンド授業を行います。受講者は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 (※「授業動画を視聴し」の箇所は、必要に応じ「授業音声を聴取し」に変更)									

科目名	欧米文学・文化演習ⅡF		科目ナンバリング	L-ESLI4-65.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	後期
			科目コード	E53045		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 イギリス文化またはイギリス文学の分野において、興味を唆られるトピックとその関連資料を見つけ、徹底的に分析・考察し、発表をしてもらいます。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの5・9・10に関連し、カリキュラムポリシーの5・9・10に関連している。</p>									
到達目標	関心事をしっかりと定め、関係資料を見つける作業ができる。キーとなる資料を徹底的に分析し、その分野に関する全体的な知識と自分の問題点を明らかにする。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction			授業の進め方の説明				ガイダンス		
第2回	論の展開の仕方1			トピックセンテンスに肉付けを行い論を展開させる。				解説と実践		
第3回	論の展開の仕方2			トピックセンテンスに肉付けを行い論を展開させる。				解説と実践		
第4回	引用・参考文献1			引用の仕方、参考文献の書き方を学ぶ。				解説と実践		
第5回	引用・参考文献2			引用の仕方、参考文献の書き方を学ぶ。				解説と実践		
第6回	まとめ			これまでのリサーチに関する学びの復習				オンデマンド授業		
第7回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第8回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第9回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第10回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第11回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第12回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第13回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第14回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第15回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
評価方法及び評価基準	問題点をはっきり見つけ、ポイントが絞れた発表ができるかをはかる。発表60%、レポート40%									
課題等	各自の発表の際にフィードバックを行うので、それをふまえてレポートを作成すること。レポートは後日返却する。									
事前事後学修	発表の授業、レポートの作成などで週あたりの学習時間3時間以上									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課します。第6回目はオンデマンド授業を行います。受講者は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 (※「授業動画を視聴し」の箇所は、必要に応じ「授業音声を聴取し」に変更)									

科目名	卒業論文		科目ナンバリング	L-ESTH4-60. E	単位数 時間	4単位	対象 学年	4年	開講 学期	通年
			科目コード	E41409		60時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 トピックの見つけ方、参考資料の見つけ方、レポート作成の技術を学びます。その後、各自それぞれのトピックを見つけ、中間発表や教師とのやりとりを経て、論文の完成を目指します。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの9・10に関連し、カリキュラムポリシーの9・10に関連している。</p>									
到達目標	<p>“大学での勉学を通して学んだ事、自分の関心事の中から独自のトピックをきちんと絞り込み、自らの意見を展開させた論文を書く。”</p>									
授 業 計 画										
回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）	備考	回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）	備考			
第1回	Introduction	授業の進め方説明		第16回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第2回	トピックの絞り込み	トピックを考える。		第17回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第3回	トピックの絞り込み	トピックセンテンスを考える。		第18回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第4回	資料収集	関係資料の探し方と収集		第19回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第5回	資料収集	関係資料の探し方と収集		第20回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第6回	アウトラインの作成	アウトラインの作成		第21回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第7回	アウトラインの作成	アウトラインの作成と添削		第22回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第8回	アウトラインの作成	アウトラインの推敲		第23回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第9回	論の肉付け	論の展開を考えながら、肉付け		第24回	論文作成指導	結論部分のフィードバック				
第10回	論の肉付け	論の展開を考えながら、肉付け		第25回	論文作成指導	参考文献の書き方指導				
第11回	章の構成	各章の構成の仕方の説明		第26回	論文作成指導	全体の推敲				
第12回	章の構成	各章の構成の仕方の説明		第27回	論文作成指導	全体の推敲				
第13回	引用の仕方	引用の仕方の説明を実例を見ながら説明		第28回	論文作成指導	全体の推敲				
第14回	引用の仕方	引用の仕方の説明を実例を見ながら説明		第29回	論文作成指導	全体の推敲				
第15回	論文作成指導	文章化し、暫定のイントロダクション提出		第30回	論文作成指導	まとめ				
評価方法及び評価基準	<p>口頭試問30%、卒業論文70% しっかりと情報を踏まえた上で、自分の意見を展開した論文を完成することができたかどうかを図る。</p>									
課題等	<p>論文の段階的な執筆と推敲を繰り返してもらいます。</p>									
事前事後学修	<p>資料収集、資料分析、論文構成、論文遂行などで週あたりの学習時間3時間以上</p>									
教材教科書参考書	<p>適宜紹介します。</p>									
留意点	<p>なし</p>									

科目名	卒業論文		科目ナンバリング	L-ESTH4-60. E	単位数 時間	4単位	対象 学年	4年	開講 学期	通年
			科目コード	E41410		60時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】 This graduation thesis seminar will guide students through writing their graduation theses. Students will be expected to gather the necessary materials, resources and data needed to research and write an original graduation thesis in accordance with university guidelines. 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの9・10に関連し、カリキュラムポリシーの9・10に関連している。</p>									
到達 目標	The 1st term focuses on getting students acclimated to researching and writing their graduation theses. Students will be asked to make presentations to the other seminar members of this class in the form of progress reports, outlining their research and data. The 2nd term focuses on presenting students' research and completing the written thesis.									
授 業 計 画										
回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）		備考	回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）		備考	
第1回	Course Orientation	Introduction of course objectives and thesis writing methods			第16回	Research update	Students will provide an update on their research		Oral update	
第2回	Review Sempai Theses	Students will review sempai theses to see what will be expected of them		Groupwork	第17回	Peer feedback	Students will practice giving peer feedback		Thesis 1st Draft	
第3回	Brainstorming topics	Students will brainstorm and refine their thesis topics		Groupwork	第18回	Creating charts / tables	Students will review how to make charts and tables in their thesis			
第4回	Outline presentations	Students will present their thesis outline to the class		Present ation	第19回	Research update	Students will provide an update on their research		Groupwork	
第5回	Using Internet Research	Students will review appropriate research methods		Groupwork	第20回	Research update	Students will provide an update on their research		Thesis 2nd Draft	
第6回	Taking notes	Students will learn notetaking strategies			第21回	Writing Thesis Conclusions	Students will learn how to write the conclusion to their thesis		Groupwork	
第7回	Revising the Outline	Students will revise their thesis outline		Thesis outline due	第22回	Research update	Students will provide an update on their research		Groupwork	
第8回	Citing sources	Students will review how to cite research sources in theses		Groupwork	第23回	Research update	Students will provide an update on their research		Revised Thesis	
第9回	Discussion of research topics	Students will provide an update on their research		Oral update	第24回	Research update	Students will provide an update on their research		Revised Thesis	
第10回	Discussion of research topics	Students will provide an update on their research		Oral update	第25回	Making Works Cited lists	Students will review how to create a Works Cited for their research paper		Groupwork	
第11回	Thesis statements	Students will review writing thesis statements		Oral update	第26回	Final draft revisions	Students will finalize their graduation thesis		Revised Thesis	
第12回	Discussion of research topics	Students will discuss their thesis statements and provide an update on their research		Thesis statement due	第27回	Thesis submission	Students will submit their theses.		Final thesis	
第13回	Thesis chapter writing styles	Students will review the formatting and writing style of thesis chapters		Oral update	第28回	Feedback and review	Students will receive feedback from their advisor			
第14回	Research update	Students will provide an update on their research		Oral update	第29回	Thesis Poster Presentations	Students will do poster presentations about their graduation thesis research.		Poster Presentation	
第15回	Thesis writing processes	Students will discuss their plans for continuing research; Thesis Chapter 1 draft due		Chap 1 draft due	第30回	Oral Interviews	Students will have an oral interview with 2 faculty members about their thesis research		Oral Interview	
評価 方法 及び 評価 基準	Theses must be written in English based on original research. Final grades are determined as follows: 80% on the thesis (will be graded on MLA format, research, organization, synthesis, and documentation according to a rubric), and 20% on weekly presentations/assignments.									
課題 等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前 事後 学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 90 mins. per day.									
教材 教科書 参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone and a computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams.									
留意 点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible, especially for job-hunting and teaching practice absences.									

科目名	卒業論文		科目ナンバリング	L-ESTH4-60. E	単位数 時間	4単位	対象 学年	4年	開講 学期	通年	
			科目コード	E41411		60時間					
区分	専門教育科目	必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	演習	単独		
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>This graduation thesis seminar will prepare students to write their graduation theses. Students will be expected to gather the necessary materials, resources and data needed to research and write an original and satisfactory graduation thesis in accordance with university guidelines.</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの9・10に関連し、カリキュラムポリシーの9・10に関連している。</p>										
到達目標	<p>The first term focuses on getting students acclimated to researching and writing their graduation theses. Students will be asked to make presentations to the other seminar members of this class in the form of "progress reports," outlining their research and data. The second term focuses on presenting students' research and completing the written thesis.</p>										
授 業 計 画											
回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）			備考	回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）			備考
第1回	Course Orientation	Introduction of course objectives and thesis writing methods				第16回	Research update	Students will provide an update on their research			Oral update
第2回	Review Sempai Theses	Students will review sempai theses to see what will be expected of them			Groupwork	第17回	Peer feedback	Students will practice giving peer feedback			Thesis 1st Draft
第3回	Topic presentation	Students will discuss and refine their graduation research topics			Groupwork	第18回	Creating charts / tables	Students will review how to make charts and tables in their thesis			
第4回	Using Internet Research	Students will review appropriate research methods			Groupwork	第19回	Peer feedback	Students will give and receive peer feedback on their theses			Groupwork
第5回	Thesis statements	Students will review writing thesis statements			List of resources	第20回	Research update	Students will provide an update on their research			Thesis 2nd Draft
第6回	Brainstorming topics	Students will brainstorm and refine their thesis topics			Groupwork	第21回	Research update	Students will provide an update on their research			Groupwork
第7回	Writing an Outline	Students will revise their thesis outline			Thesis outline due	第22回	Peer feedback	Students will give and receive peer feedback on their theses			Groupwork
第8回	Outline presentations	Students will present their final outline to the class			Present ation	第23回	Research update	Students will provide an update on their research			Revised Thesis
第9回	Making Works Cited lists	Students will review how to create a Works Cited for their research paper			Groupwork	第24回	Research update	Students will provide an update on their research			Revised Thesis
第10回	Taking notes	Students will learn notetaking strategies				第25回	Final draft revisions	Students will finalize their graduation thesis			Revised Thesis
第11回	Discussion of research topics	Students will provide an update on their research			Oral update	第26回	Final draft revisions	Students will finalize their graduation thesis			Revised Thesis
第12回	Citing sources	Students will review how to cite research sources in theses			Groupwork	第27回	Thesis submission	Students will submit their theses.			Final thesis
第13回	Research update	Students will provide an update on their research			Oral update	第28回	Feedback and review	Students will receive feedback from their advisor			
第14回	Research update	Students will provide an update on their research			Oral update	第29回	Thesis Poster Presentations	Students will do poster presentations about their graduation thesis research.			Poster Presentation
第15回	Thesis writing processes	Students will discuss their plans for continuing research: Thesis Introduction due			Thesis introduction	第30回	Feedback and review	Students will discuss what they learned in the reseach process			
評価方法及び評価基準	<p>Theses must be written in English based on original research. Final grades are determined as follows: 80% on the thesis (will be graded on MLA format, research, organization, synthesis, and documentation according to a rubric), and 20% on weekly presentations/assignments.</p>										
課題等	<p>Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.</p>										
事前事後学修	<p>Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.</p>										
教材教科書参考書	<p>The professor will provide handouts and materials as necessary. Students must have access to a smartphone or notebook computer for classroom activities.</p>										
留意点	<p>Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible. Reports must be submitted in accordance with Hirosaki Gakuin University policies and procedures. One class session will be given in on-demand format. Students will be notified ahead of time.</p>										